

38 号館
情報処理実習室
利用手引き
【授業支援システム】

第 1.1 版

2023 年 10 月 13 日

KUDOS 学生センター

目次

1. 本書の位置づけ	5
2. 授業支援システムの概要	6
3. 教卓姿図	7
4. 起動と終了	8
4.1. 起動	8
4.1.1. 画像・音声提示装置の起動	8
4.1.2. PCL+アプリケーションの起動	10
4.2. 終了	10
4.2.1. PCL+アプリケーションの終了	10
4.2.2. 画像・音声提示装置の終了	10
5. 画像・音声提示装置の各機能	11
5.1. 画像・音声提示装置の操作手順	11
5.1.1. タブレットモニター画像送付	11
5.1.2. 提示モニター画像送付	12
5.1.3. プロジェクター画像送付	12
5.1.4. 音声送付	13
5.1.5. 音量調整	13
5.1.6. 教室の統合利用	13
6. 授業支援機能の操作手順	14
6.1. PCL+アプリケーションの概要	14
6.2. PCL+の利用	14
6.2.1. PCL+の起動と終了	14
6.3. PCL+の操作画面	15
6.3.1. レイアウトウィンドウ	15
6.3.2. ツール ボタン	17
6.3.3. ステータス バー	17
6.4. メニュー	17
6.4.1. ファイル メニュー	17

6.4.2. 選択メニュー.....	18
6.4.3. ツールメニュー.....	18
6.4.4. ヘルプメニュー.....	18
6.5. PCL+の機能操作.....	18
6.5.1. 出席管理.....	18
6.5.2. PCL コントローラ.....	20
6.5.3. キーボードとマウスのロック.....	21
6.5.4. 画像受信(モニタリング).....	22
6.5.5. 学習者 PC のモデル送出.....	25
6.5.6. 利用アプリケーションの集計.....	27
6.5.7. アプリケーション制限.....	28
6.5.8. メッセージ.....	31
6.5.9. 出題と回答.....	35
6.5.10. ファイルの配付/回収.....	43
6.5.11. クライアント PC の管理.....	48
6.5.12. 学習者の選択と解除.....	51

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容	作成者	確認者	承認者
1.0	2018年9月13日	初版			
1.1	2023年10月13日	部署名変更 【総合情報システム】⇒【KUDOS学生センター】			

1. 本書の位置づけ

本書は、38号館2階 第5～10情報処理実習室 授業支援システムの利用者向け 操作マニュアルです。

2. 授業支援システムの概要

授業支援システムは、以下により構成されます。

1) 画像・音声提示装置による各機能

教卓上のリモート操作ユニットを操作することで、学習者に教材となる画像や音声を提示することができます。

「表 2-1 画像・音声提示装置による機能一覧」の各機能を利用できます。

可動壁により隣接する教室では、統合利用による授業展開ができます。

2) PCL+アプリケーションによる各機能

教員 PC にセットアップされた PCL+アプリケーションの制御画面を操作することで、出席管理や学習者 PC の操作禁止など「表 2-2

PCL+アプリケーションによる機能一覧」の各機能を利用できます。

表 2-1 画像・音声提示装置による機能一覧

機能名称	機能詳細	操作手順	
1	タブレットモニター画像送出	教材画像をタブレットモニターに送出します。	5.1.1
2	提示モニター画像送出	教材画像を提示モニターに送出します。	5.1.2
3	プロジェクター画像送出	教材画像を液晶プロジェクターに送出します。	5.1.3
4	音声送出	送出教材音声をスピーカーに出力します。	5.1.4
5	教室統合	隣接する教室を統合して利用します。	5.1.6

表 2-2 PCL+アプリケーションによる機能一覧

機能名称	機能詳細	操作手順	
1	出席管理	授業に出席した学習者情報を出席データとして管理・保存します。	6.5.1
2	PCL コントローラ	画像・音声提示装置の一部操作を PCL+アプリケーションから操作します。	6.5.2
3	キーボードとマウスのロック	学習者が PC を操作できないよう、キーボードとマウスをロックします。	6.5.3
4	画像受信(モニタリング)	学習者の PC 画面を取得し、学習状況を確認します。	6.5.4
5	モデル送出	教員またはモデル学習者の PC 画面を他の学習者の PC 画面に送出します。	6.5.5
6	利用アプリケーション集計	学習者が利用中のアプリケーションのタイトル情報を集計表示し、学習状況を確認します。	6.5.6
7	アプリケーションの利用制限	学習者 PC のアプリケーション利用を一時的に制限します。	6.5.7
8	メッセージ	学習者と教員の間でテキストベースのメッセージを送受信します。	6.5.8
9	出題と回答	教員側より設問を出題し、設問に対する学習者の回答を集計します。	6.5.9
10	ファイルの配布と回収	学習者へファイルの配付/回収を行います。	6.5.10
11	クライアントの電源管理	学習者 PC のシャットダウン、再起動、ログオフ等を、一斉または個別に実行します。	6.5.11

3. 教卓姿図

教卓の機器搭載図を「図 3-1 第 5～10 情報処理実習室教卓姿図」に記します。

※利用上、操作の必要が無い機器については、教卓の奥側に配置しておりますので、操作しないようお願いします。

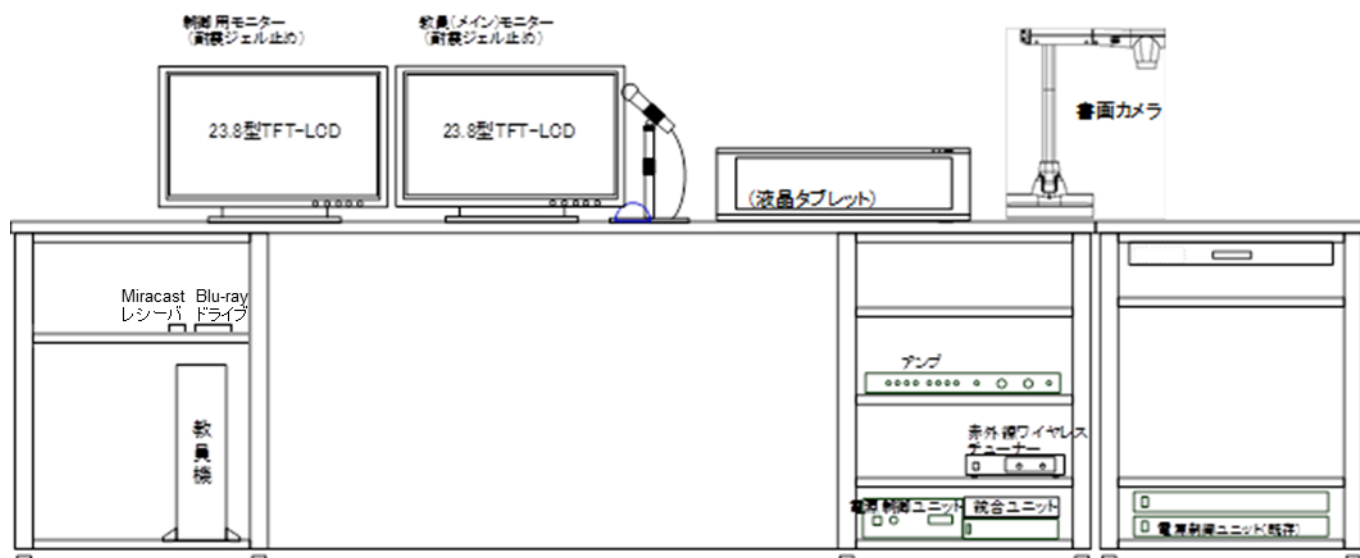
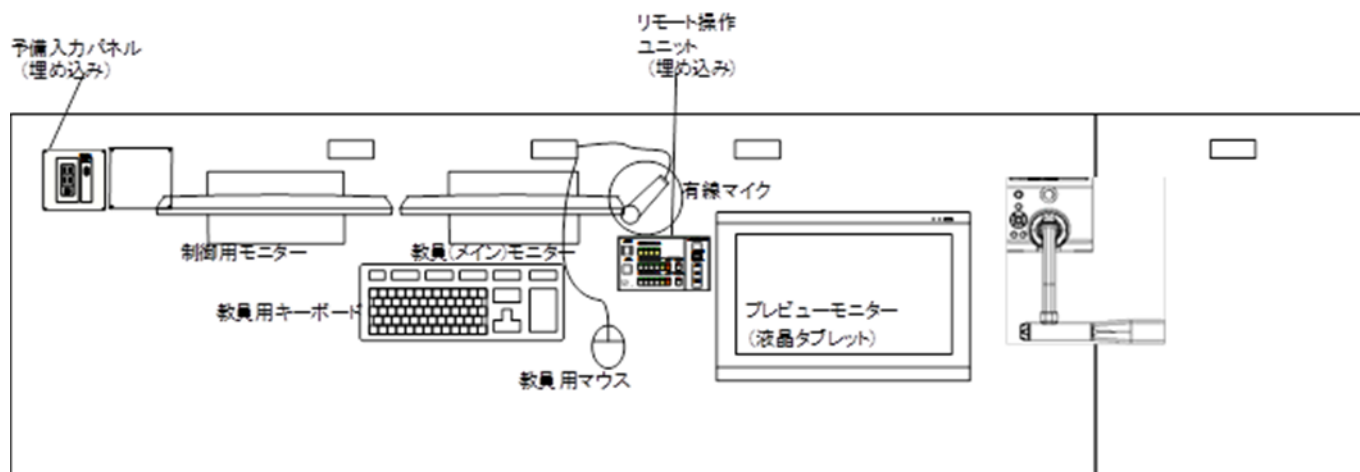


図 3-1 第 5～10 情報処理実習室教卓姿図

4. 起動と終了

授業支援システムの起動と終了の概要は以下の通りとなります。

4.1. 起動

基本的に以下の順序で起動してください。順序が逆の場合、一部機能が利用できない場合があります。

画像・音声提示装置の各機能と PCL+アプリケーションの各機能は、各々を単独で利用することも可能ですが、その場合は一部機能が制限されることがあります。

4.1.1. 画像・音声提示装置の起動

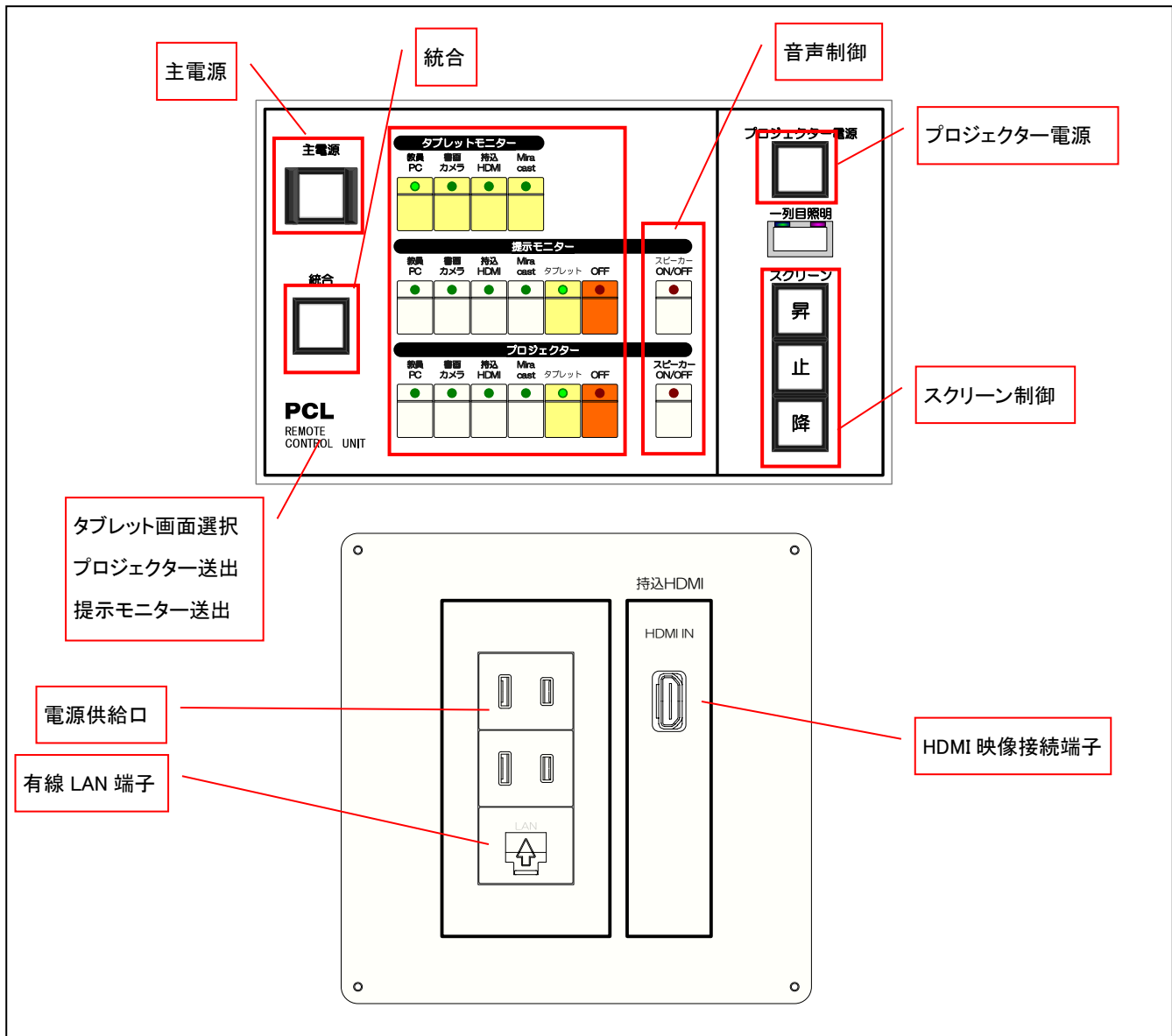


図 4-1 第 5～10 情報処理実習室 リモート操作ユニット及び予備入力パネルの外観

- 操作** リモート操作ユニットの [主電源] ボタンを 1 秒以上押してください。
 [主電源] ボタンのランプが点灯し、教員卓機器の電源が自動投入されます。
 (PC など、教員卓機器の一部の電源は自動投入されません)
 ! アンプの電源が入ってから音声が出るまで 15 秒ほどかかります。

持込機器の接続

授業の中で持込機器(PC等)の画像や音声を教材として利用する場合には、持込 HDMI 端子に接続してください。

持込HDMI



[HDMI]端子

HDMI ケーブルを利用して画像・音声信号を入力

アナログ RGB 端子を搭載した PC 等の接続には、別途変換器を使用して[HDMI]端子へ接続します。

電源供給用の AC100V コンセント、および、情報コンセントも利用可能です。

Miracast 対応機器の接続

Miracast 対応機器からの画像や音声を教材として利用する場合には、各機器の無線映像送出手順に従って接続してください。

(a) Miracast レシーバのデバイス名確認

デバイス名は接続先を識別するために必要です。デバイス名は以下の手順で確認が可能です。

- 1) リモート操作ユニットの Miracast ボタンで映像を選択し、タブレットモニター等に Miracast レシーバの映像を出力します。映像の下部中央に「デバイス名」が表示されます。



※Miracast レシーバに接続済みの端末がある場合は表示はされません。

(b) Windows での接続

下記は一例として Windows10 での操作手順を示しています。

- 1) スタートメニューから、設定 を開きます。
- 2) [システム] - [ディスプレイ] を順にクリックし、[ワイヤレスディスプレイに接続する]をクリックします。



- 3) 画面端より「ワイヤレスディスプレイとオーディオデバイスを検索しています」の画面が開きます。

教室内の Miracast レシーバーが現れたら、クリックして選択します。



- 4) 接続試行中から接続済みになると接続成功です。

リモート操作ユニットの Miracast ボタンで映像を選択すると提示モニターあるいはプロジェクターに映像が出力されます。



4.1.2. PCL+アプリケーションの起動

操作 1 教員 PC にログオンしてください。

PCL+アプリケーションはスタートアップに登録されているため、ログオン処理とともに自動起動されます。

手動で起動するにはスタートメニューから [TechnicalNitto] をポイントし、[PCL+Master] をクリックします。

授業の開始（出席管理機能の利用）

PCL+アプリケーションでは、学習者のログオン情報を出席情報として保存する機能があります。「授業の開始」と「授業の終了」操作を行うことで、遅刻や早退情報を含む出席情報を保存することができます。詳細については『6.5.1 出席管理』を参照してください。

4.2. 終了

基本的に以下の順序で終了してください。

4.2.1. PCL+アプリケーションの終了

操作 1 **注意：出席情報を保存する場合は、この操作の前に保存操作を行ってください。**

詳細については『6.5.1 出席管理』を参照してください。
ウィンドウ右上にある [閉じる] ボタンをクリックしてください。

PCL+アプリケーションが終了します。

操作 2 教員 PC をログオフしてください。

PCL+アプリケーション終了時、学習者 PC で実行される機能(モデル送出、キーボードとマウスのロック)は無効状態になります。

4.2.2. 画像・音声提示装置の終了

操作 リモート操作ユニットの [主電源] ボタンを 1 秒以上押してください。

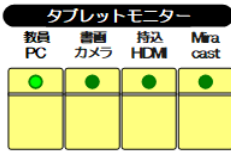
[主電源] ボタンのランプが消灯し、起動時に自動投入された教員卓機器の電源が切れます。

5. 画像・音声提示装置の各機能

5.1. 画像・音声提示装置の操作手順

5.1.1. タブレットモニター画像送出

教材画像を提示モニターに送出する前にタブレットモニターに表示して確認を行います。



画像のソースとして利用可能な機器

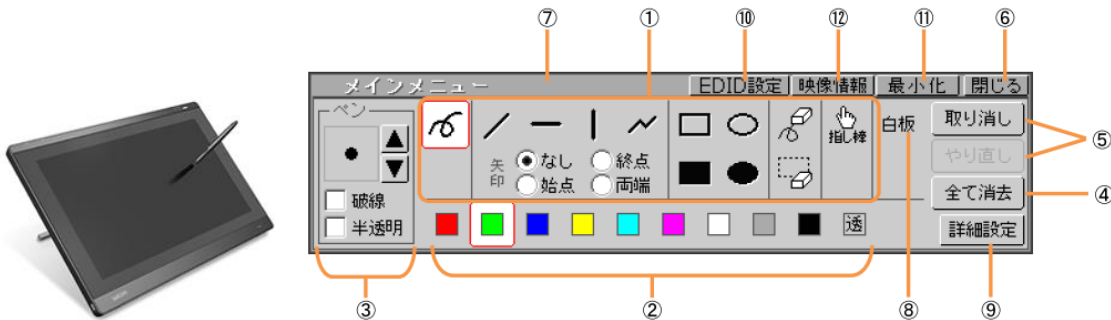
- 教員パソコン
- 書画カメラ
- 持込機器（予備入力端子で接続されたパソコン等）
- Miracast(無線)送出に対応した機器


送出操作 タブレットモニターへの送出を行う教材ボタンを押してください。
 選択された教材ボタンランプが点灯し、タブレットモニターに教材画像が映ります。
 提示モニターやプロジェクターに送出する前に、教材画像を確認できます。

タブレットの操作 (ビデオマーキング機能)

教卓上に設置されている液晶ペンタブレットディスプレイは、専用ペンで画面に書き込む為の装置です。

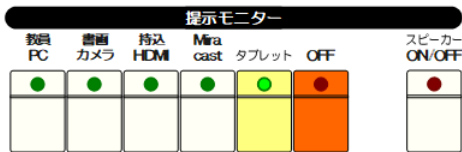
主電源の投入により自動で電源が入り、10 秒程度で下図のメニューが表示されて利用可能な状態になります。



名称	働き（用途）
① 描画モード選択ボタン群	描画する図形を選択します。
② 描画色選択ボタン群	描画する色を選択します。
③ 描画ペン属性選択枠	描画線の太さを変えたり、破線や半透明の ON/OFF を選択することができます。
④ 描画内容全消去ボタン	描画した内容をまとめて消去したいときに使用します。
⑤ 取り消しボタン やり直しボタン	取り消しボタンで 1 つ前の描画状態に戻すことができます。取り消しを実行した場合は、やり直しボタンで取り消し前の描画状態に戻すこともできます。
⑥ パレット非表示ボタン	描画ツールパレットを非表示にします。マウスの [中央ボタン] をクリックすると描画ツールパレットが再び表示されます。
⑦ パレット移動バー	このバーの上でマウスの [左ボタン] を押しながらポインタを移動させると、描画ツールパレットの表示位置を変更することができます。
⑧ 白板モード ON/OFF ボタン	描画領域の背景を白にして描画することができます。
⑨ 詳細設定ボタン	破線の種類や半透明パターンなどを設定するときに使用します。
⑩ EDID 設定ボタン	EDID を設定するときに使用します。
⑪ 最小化ボタン	メニューを最小化する時に使用します。元に戻すには  をクリックします。
⑫ 映像情報ボタン	現在の入力映像信号情報を確認するときに使用します。

5.1.2. 提示モニター画像送出

教材画像を提示モニターに送出します。



画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 持込 HDMI 機器 (予備入力端子に接続された機器)
- 書画カメラ
- Miracast(無線)送出に対応した機器
- タブレット(ビデオマーカーで加筆された画像)

- 送出操作** 提示モニターへの送出を行う教材ボタンを押してください。
 選択された教材ボタンランプが点灯し、提示モニターに教材画像が映ります。
- 停止操作** 提示モニターへの映像送出を停止する場合は [OFF] ボタンを押してください。
 [OFF] ボタンランプが点灯し、送出を停止します。

5.1.3. プロジェクター画像送出

必要に応じて、以下の手順で利用してください。

- 1) 起動操作を行うことでプロジェクターが利用可能な状態となり、同時にスクリーンが降下して利用可能となります。
- 2) 送出する教材画像を選択します。
- 3) 終了操作を行うことでプロジェクターがスタンバイ状態となり、同時にスクリーンが収納されます。

5.1.3.1. プロジェクターの起動と終了

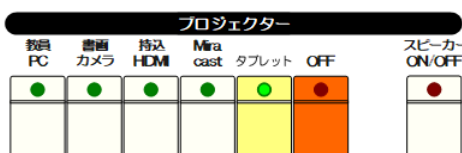
プロジェクター
電源



- 起動操作** プロジェクター 電源 ボタンを 1 秒以上押してください。
 プロジェクター 電源 ボタンのランプが点灯し、プロジェクターのウォームアップ処理が開始されます。
 自動でスクリーンが降下します。
 プロジェクターは、ウォームアップ処理完了後に利用可能となります。
- 終了操作** プロジェクター 電源 ボタンを 1 秒以上押してください。
 プロジェクター 電源 ボタンのランプが消灯し、プロジェクターのクールダウン(光源ランプ冷却)処理が開始されます。
 自動でスクリーンが収納されます。
 プロジェクターは、クールダウン(光源ランプ冷却)処理完了後にスタンバイ状態になります。

5.1.3.2. 送出画像の選択

教材画像をプロジェクターに送出します。



画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 書画カメラ
- 持込 HDMI 機器 (予備入力端子に接続された機器)
- Miracast(無線)送出に対応した機器
- タブレット(ビデオマーカーで加筆された画像)

- 送出操作** プロジェクターへの送出を行う教材ボタンを押してください。
 選択された教材ボタンランプが点灯し、プロジェクターに教材画像が映ります。
- 停止操作** プロジェクターへの映像送出を停止する場合は [OFF] ボタンを押してください。
 [OFF] ボタンランプが点灯し、送出を停止します。

5.1.4. 音声送出

教材画像の音声を室内スピーカーに出力します。

- 送出操作** 提示モニター、プロジェクターのいずれかのスピーカーボタンを押して点灯状態にします。
 選択した映像の音声が入内スピーカーから出力されます。
 ※提示モニター、プロジェクターどちらの映像選択ボタンを押しても音声が出力されます。
- 停止操作** 提示モニター、プロジェクターのいずれかのスピーカーボタンを押して消灯状態にします。

5.1.5. 音量調整

教材映像の音声、および、マイクの音量調整は教卓内にあるアンプのつまみを操作することで音量が減/増されます。
 音量を変更した場合は使用后、元の位置に戻してください。なお教材音声以外のつまみは操作しないでください。

5.1.6. 教室の統合利用

[統合] ボタンを操作することで、統合先の教室と統合した環境で授業を行うことができます。

統合



- 統合操作** [統合] ボタンを 1 秒以上押します。
 [統合] ボタンのランプが点灯し、統合先教室との統合が実行されます。
 統合先教室の[主電源] ボタンのランプが緑色に点灯し、教員卓機器の電源が自動投入されます。
 (PC など、教員卓機器の一部の電源は自動投入されません)

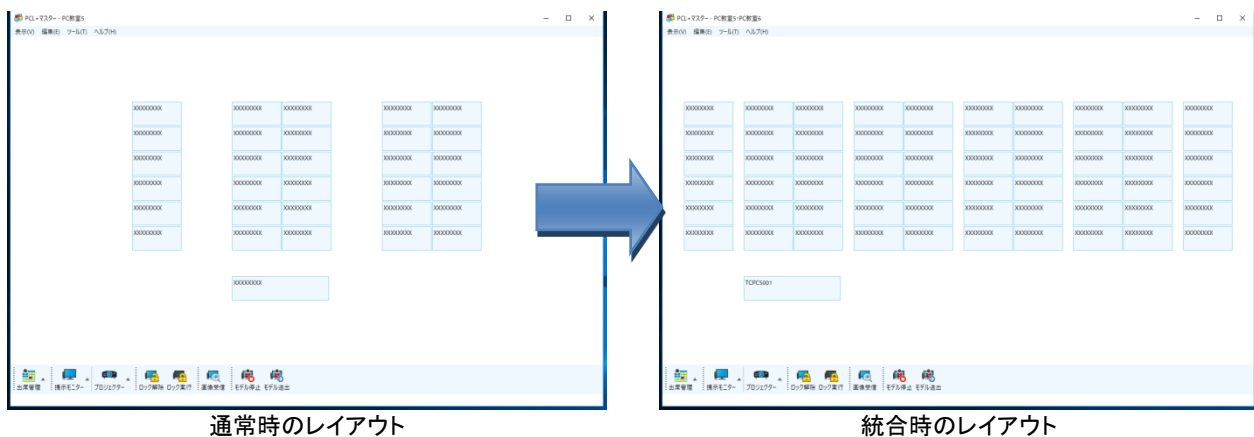
※注意

教室統合は、統合先教室が利用されていない場合のみに利用可能な仕様となりますので、統合先教室のリモート操作ユニットの主電源が ON 状態のときには [統合] ボタンを押しても反応しません。

- 解除操作** 再度 [統合] ボタンを 1 秒以上押すことで、[統合] ボタンのランプが消灯し、統合が解除されます。
 統合先教室の[主電源] ボタンのランプが消灯し、自動投入された教員卓機器の電源が切れます。

教室統合機能利用時の音量調整が必要な場合は、各々の教室のリモート操作ユニットの音量調節つまみを調整してください。

教室統合時は、教員 PC のレイアウト表示が統合された形で表示されます。



6. 授業支援機能の操作手順

6.1. PCL+アプリケーションの概要

PCL+アプリケーションは、出席管理や学習者 PC の操作禁止、学習者 PC の画面取得などの機能を利用して、授業をアシストする授業支援ソフトウェアです。


6.2. PCL+の利用

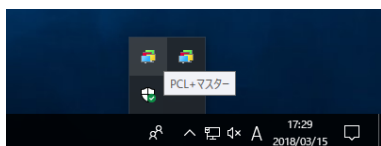
6.2.1. PCL+の起動と終了

6.2.1.1. PCL+の起動

- 1) PC の電源を投入し、ログインします。

PCL+アプリケーションはスタートアップに登録されているため、ログオン処理とともに自動起動されます。

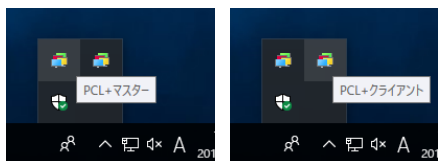
ウィンドウを閉じてしまった場合は、タスクトレイに表示されている「 PCL+マスター」のアイコンをダブルクリックして、表示されたレイアウトセレクトからレイアウトを選択して起動します。





タスクトレイに「PCL+マスター」のアイコンが表示されていない場合は、スタートメニューから [TechnicalNitto] をポイントし、[PCL+Master] をクリックします。

タスクトレイに表示される PCL+アプリケーションアイコンについて

PCL+アプリケーションには Master アプリケーションと Client アプリケーションの 2 種類のアプリケーションがあり、それぞれのアプリケーションが起動している時、アイコンがタスクトレイに表示されます。



アイコン	状態
 PCL+マスター	PCL+Master アプリケーションが起動しています。
 PCL+クライアント	PCL+Client アプリケーションが起動しています。


- 2) 授業の開始（出席管理機能の利用）

PCL+アプリケーションでは、学習者のログオン情報を出席情報として保存する機能があります。「授業の開始」と「授業の終了」操作を行うことで、遅刻や早退情報を含む出席情報を保存することができます。詳細については『P18 出席管理』を参照してください。

6.2.1.2. PCL+の終了

- 1) 授業の終了（出席情報の保存）

出席情報を保存する場合は、2 の操作の前に保存操作を行ってください。詳細については『P18 出席管理』を参照してください。

- 2) 画面の右上にある [ × ボタン(閉じるボタン)] をクリックします。

PCL+マスターアプリケーションのウィンドウが閉じ、タスクトレイに収納されます。

6.3. PCL+の操作画面

The screenshot shows the PCL+ Master software interface. The main window displays a classroom layout with 30 student PCs arranged in three columns. Each PC icon shows a status indicator (e.g., 'Std30', 'Std29', etc.). A toolbar at the bottom contains icons for '出席管理' (Attendance Management), '提示モニター' (Presentation Monitor), 'プロジェクター' (Projector), 'ロック解除' (Unlock), 'ロック実行' (Lock Execution), '画像受信' (Image Reception), 'モデル停止' (Model Stop), and 'モデル退出' (Model Exit). A status bar at the bottom right indicates '学習者クライアント利用数 30 台 (30 台中)' (Number of learner client PCs used: 30 out of 30).

- レイアウトウィンドウ**
教室のレイアウトが表示されます。
※本マニュアルで表示されている図は、説明用の一例で、実際の表示とは異なります。
- ツール ボタン**
標準機能の機能ボタンが配置されています。
- ステータス バー**
PC の利用状況が表示されます。
- メニュー**
作業に必要なコマンドが操作の種類ごとにまとめられ、[表示]、[編集] などの各メニューに配置されています。メニューをクリックするとコマンド群が表示されます。

6.3.1. レイアウトウィンドウ

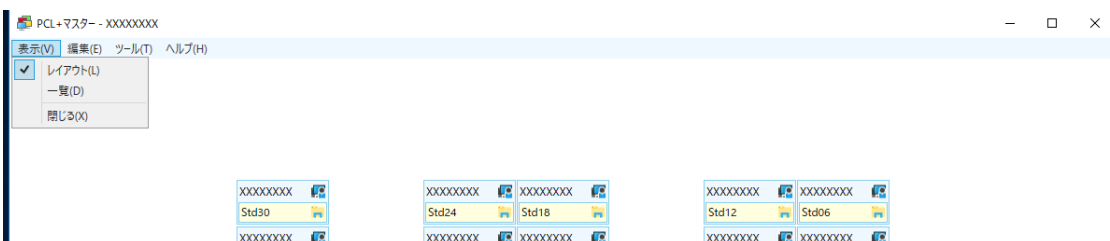
学習者 PC の利用状況が表示されます。

レイアウトウィンドウの表示形式は以下の 2 形式があり、レイアウトウィンドウにあるタブをクリックすることで切り替えます。

- 教室レイアウトに準じて表示する レイアウトモード
- 出席している学習者をリスト表示する 一覧モード

6.3.1.1. レイアウトモード

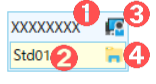
メニューの [表示] - [レイアウト] の選択により、教室レイアウトに準じて表示します。



学習者 PC 別に利用状況が表示され、教室全体の利用状況が分かります。

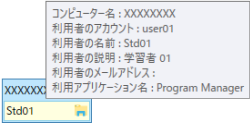
学習者 PC ボタンには 利用者名 が表示され、PC を利用している学習者が一目でわかります。

学習者 PC ボタンの構成



- ① PC 名
PC の名前が表示されます。
- ② 利用者名
ログオンしている利用者の名前が表示されます。
※ 利用者の名前が表示できない場合は利用者のアカウントが表示されます。
- ③ ステータスアイコン
PC の状態(ロック等)アイコンが表示されます。
- ④ 利用アプリケーションアイコン
利用中のアプリケーションアイコンが表示されます。

学習者 PC のツールヒント表示



学習者 PC ボタンの上にマウス ポインターを置いたままにしておくと、ツール ヒント(ポップアップ ウィンドウ)が表示され、利用者のアカウント、利用アプリケーション名などの詳細な情報が表示されます。

学習者 PC の見方

学習者 PC の状態や、各種機能の利用状態に応じて次のように表示が変わります。

学習者 PC	説明
	稼働していない PC (電源 OFF 状態の PC)
	稼働中の PC (電源 ON 状態、あるいは、ログオフ状態の PC)
	出席している学習者 利用者名が表示されます。
	選択している学習者 ボタンの表面が強調表示されます。
	キーボードとマウスがロックされている学習者 PC 名の横に マークが表示されます。
	モデル送出している学習者 PC 名の横に マークが表示されます。
	モデル送出先としてマークされている学習者 利用者名の背景が変わります。

6.3.1.2. 一覧 モード

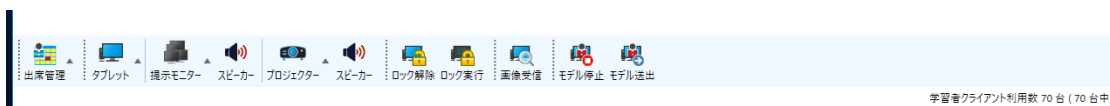
メニューの [表示] - [一覧] の選択により、出席している学習者をリスト形式で表示します。

利用者の情報、利用アプリケーションの情報、ログオン時刻などの詳細な情報が表示されます。

表示(V)	編集(E)	ツール(T)	ヘルプ(H)			
レイアウト(L)	利用者の名前	利用者の説明	利用者のEメールアドレス	アプリケーション名	アプリケーションパス	ログオン時刻
一覧(O)	Std01	学習者 01		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/11 16:46:03
閉じる(X)	Std02	学習者 02		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/12 11:53:50
	Std03	学習者 03		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/08 17:22:30
	Std04	学習者 04		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/08 17:26:31
	Std05	学習者 05		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/08 17:28:35
	Std06	学習者 06		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/11 16:46:03
	Std07	学習者 07		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/12 11:53:50
	Std08	学習者 08		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/08 17:22:30
	Std09	学習者 09		Program Manager	C:\WINDOWS\Explorer.EXE	2018/03/08 17:26:31

6.3.2. ツール ボタン

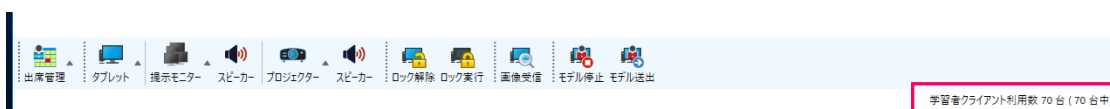
PCL+アプリケーションで主に利用する機能実行ボタンが表示されます。



- 1 出席管理**
授業に出席した学習者を管理します。
- 2 PCL コントローラ**
画像・音声提示装置との画像・音声送出連携を行います。
- 3 キーボードとマウス ロック**
学習者のキーボードとマウスを一斉にロックします。
- 4 画像受信(モニタリング)**
学習者の画面を確認します。
- 5 モデル送出**
任意の学習者の画面をモデルとして画像送出を行います。

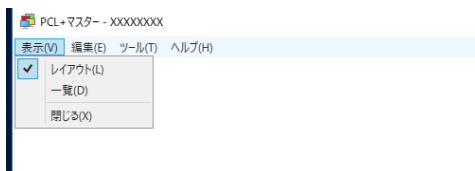
6.3.3. ステータス バー

ログオンしている PC の利用数が表示されます。



6.4. メニュー

6.4.1. ファイル メニュー



レイアウト

教室レイアウトに準じて表示します。

一覧

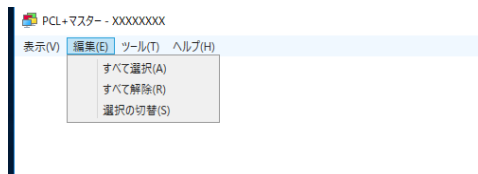
出席している学習者をリスト形式で表示します。

閉じる

PCL+ マスターアプリケーションのウィンドウを閉じます。

6.4.2. 選択 メニュー

学習者の選択や選択の解除操作を行います。



すべて選択

すべての学習者を選択状態にします。

すべて解除

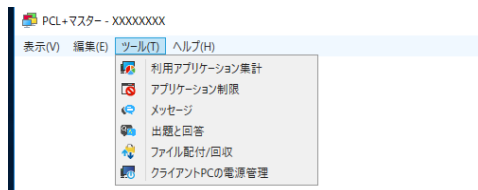
すべての学習者の選択を解除します。

選択の切替

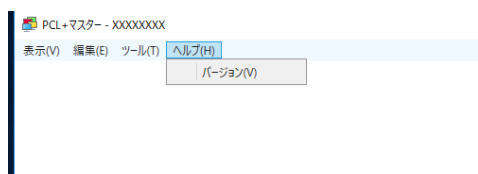
選択状態を切り替えます。選択状態にある学習者は選択が解除され、選択されていない学習者が選択状態になります。

6.4.3. ツール メニュー

利用可能なツールメニューが表示され、クリックすることで実行できます。



6.4.4. ヘルプ メニュー



PCL+のバージョン情報

PCL+のバージョン情報を表示します。

6.5. PCL+の機能操作

6.5.1. 出席管理

授業に出席した学習者情報を出席データとして保存します。

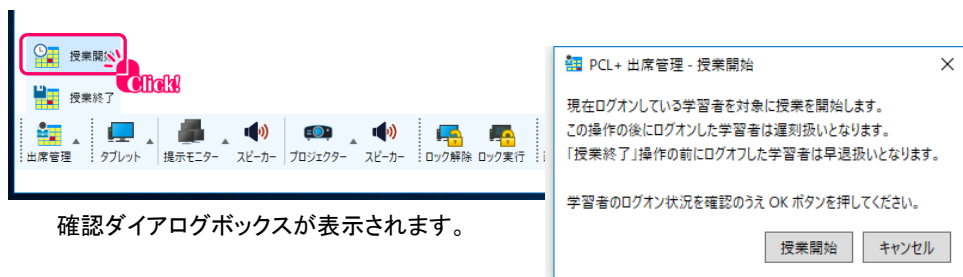
6.5.1.1. 出席管理

授業の開始/終了操作を行うことで、遅刻・早退情報を含んだ出席を取ることができます。

(a) 授業の開始

授業の開始を行い、この操作以降のログオン者を遅刻扱いにします。授業の開始時の任意のタイミングで操作してください。

- 1) [出席管理] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [授業の開始] をクリックします。

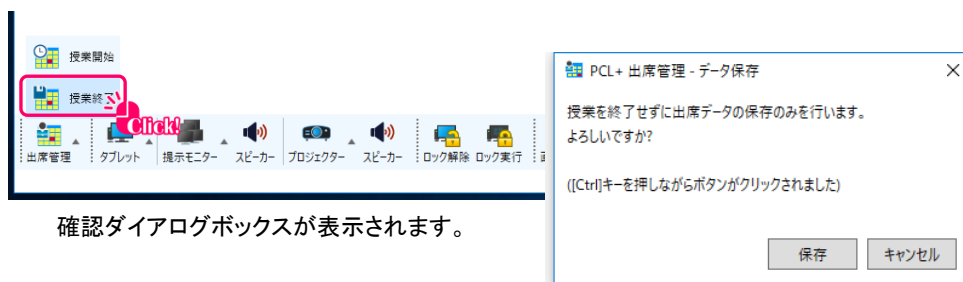


- 2) [授業開始] ボタンをクリックし、授業を開始します。
以降にログオンした学習者を遅刻者として記録します。

(b) 出席データの一時出力

授業を終了せずに出席データの保存のみを行います。

- 1) [Ctrl] キー を押しながら「授業終了」ボタンをクリックします。



- 2) [保存] ボタン をクリックし、データ保存ダイアログを表示します。
- 3) 出席データを保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。

(c) 授業の終了

授業の終了を行い、出席データを保存します。

[授業の終了] 操作より前に学習者がログオフした場合、早退扱いになります。学習者には先にログオフしないように指示をしておいてください。

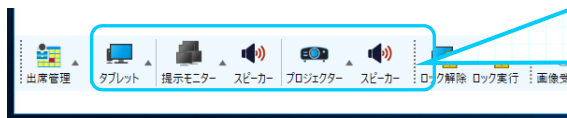
- 1) [出席管理] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [授業の終了] をクリックします。



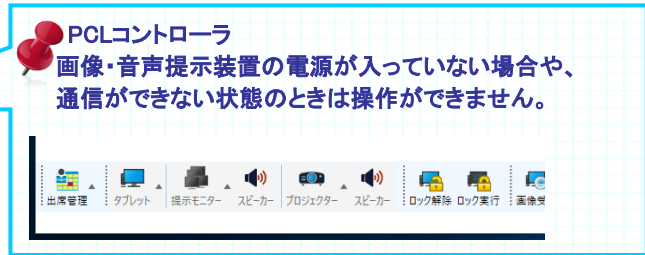
- 2) 出席データを保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。
出席情報が CSV 形式で保存されます。
既定では、[z:\]フォルダーが開かれます。
[ファイル名] ボックスには、保存日時がファイル名としてあらかじめ入力されています。

6.5.2. PCL コントローラ

画像・音声提示装置の『送出』を操作します。



画像・音声提示装置と PCL+アプリケーションは、
画像送出連携のための通信を行っています。



6.5.2.1. 画像プレビュー

教材画像を提示モニターに送出する前にタブレットモニターに表示して確認を行います。

- 1) [タブレット] ボタンをクリックし、表示されるメニューから教材をクリックします。

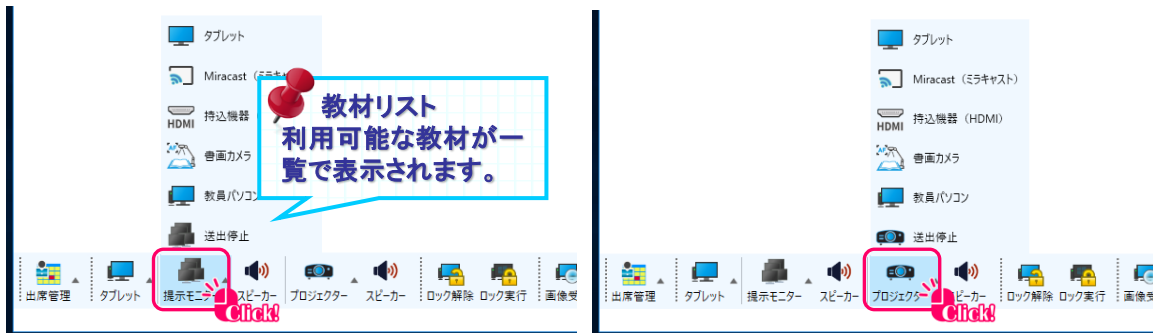


タブレットボタン アイコンが プレビューする教材のアイコンに変わり、タブレットモニターに教材画像が映ります。

6.5.2.2. 送出

教材画像を提示モニターあるいはプロジェクターに送出します。

- 1) [提示モニター/プロジェクター] ボタンをクリックし、表示されるメニューから送出を行う[教材]をクリックします。



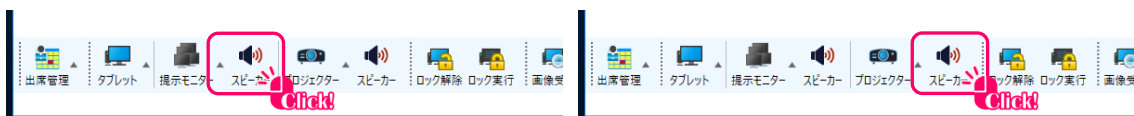
[提示モニター/プロジェクター] ボタンアイコンが 送出する教材のアイコンに変わり、提示モニターあるいはプロジェクターに教材画像が映ります。


送出を停止する場合はメニューから [送出停止] をクリックします。

6.5.2.3. 音声出力

教材音声をスピーカーに出力します。

- 1) 提示モニター出力用、プロジェクター出力用の [スピーカー] ボタンをクリックします。



スピーカーボタンが ON () になり、送出している教材の音声出力されます。

双方のボタンを ON にした場合、2 つの音声が入混じられた状態で出力されます。

スピーカーへの音声出力を止めるには、もう一度 [スピーカー] ボタンをクリックします。

スピーカーボタンが OFF になり、送出している教材の音声が入混じります。

6.5.3. キーボードとマウスのロック

学習者が PC を操作できないよう、キーボード・マウスをロックします。

ロックには、ログオンしている学習者を一斉にロックする方法と、任意の学習者を個別にロックする方法の 2 種類があります。

6.5.3.1. 一斉ロック

キーボードとマウスのロックを行うと同時に学習者モニターの画面を半透明の黒色でマスクします。

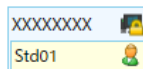
- 1) [ロック実行] ボタンをクリックします。




稼働中の学習者 PC のキーボードとマウスがロックされます。

既定では、ロックと共に学習者 PC の画面が半透明の黒色でマスクされます。

レイアウトには、ロック状態を表すアイコン(下図参照)が表示されます。



PC 名の横に  マークが表示されます。

ロックを解除するには、[ロック解除] ボタンをクリックします。

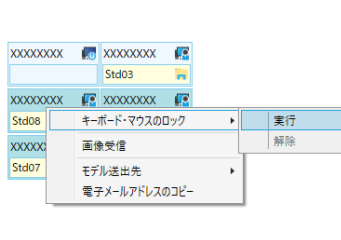


ロックされていた学習者 PC のキーボードとマウス、および、ブラックアウトが解除されます。

6.5.3.2. 個別ロック

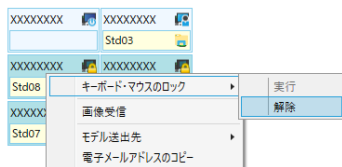
学習者 PC の操作禁止を個別に行います。

- 1) レイアウト画面上で、ロックする学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから[キーボード・マウスのロック] → [実行] をクリックします。(複数の学習者を選択するには、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします。)



選択した学習者 PC のキーボード・マウスがロックされます。

個別にロックを解除するには、ロック中の学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから [キーボード・マウスのロック] → [解除] をクリックします。



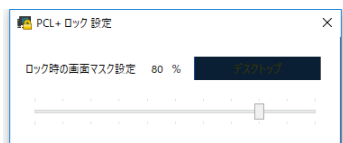
ロックされていた学習者 PC のキーボード・マウスが解除されます。

6.5.3.3. ロックの設定

ロック時の学習者 PC のマスクの透明度を設定します。

- 1) [ロック実行] ボタンを右クリックし、表示されるメニューから [ロックの設定] をクリックします。

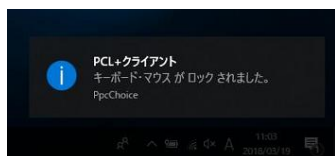
設定画面が表示されます。



- 2) スライダーを左右に動かしてマスクの透明度を指定し、画面を閉じます。

6.5.3.4. キーボードとマウスのロック時のメッセージについて

学習者 PC の操作が禁止の時、学習者側にキーボード・マウスが ロック されたことを通知します。



6.5.4. 画像受信(モニタリング)

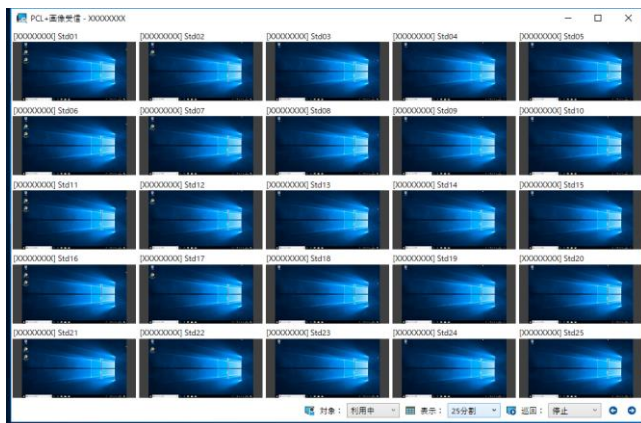
学習者 PC の画面を取得し、学習状況の確認ができます。

- 1) [画像受信] ボタンをクリックします。



モニタリングウィンドウ が表示されます。

利用中の人数に合わせて分割表示されます。

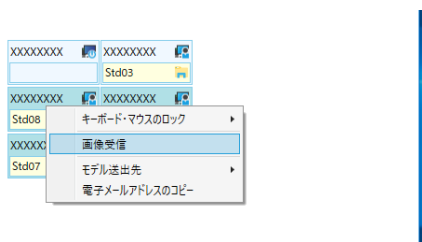


モニタリングウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×(閉じる) ボタンをクリックします。

6.5.4.1. 個別受信

任意の学習者 PC の画面を取得し表示を行います。

- レイアウト画面上で、画像を受信する学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから[画像受信]をクリックします。(複数の学習者を選択するには、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします。)



モニタリングウィンドウに選択した学習者の画面が表示されます。

6.5.4.2. モニタリングウィンドウのツールボタン

学習者の PC 画面を切り替えたり、分割数を変更したりします。

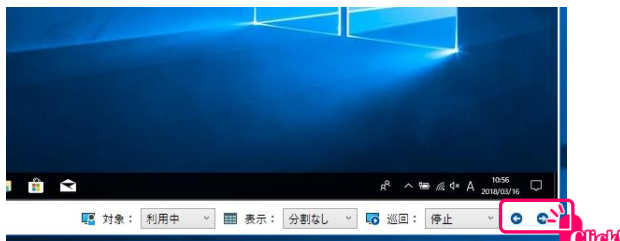


6.5.4.3. モニタリングウィンドウの操作

(a) 他の学習者をモニタリングする

現在表示されていない学習者の画面に切り替えます。

- [←] ボタン、または、[→] をクリックします。



次の画面、または、前の画面に表示が切り替わります。

(b) 画面分割数を変更する

- 1) 「画面」メニューをクリックし、表示されるメニューから分割数をクリックします。

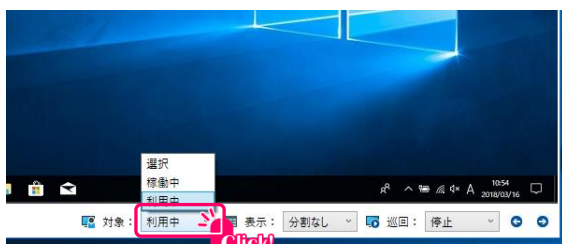


選択された分割数で学習者 PC の画面を表示します。

※モニタリング対象者数の範囲外となるメニューは表示されません。

(c) モニタリング対象者を変更する

- 1) 「モニタリング対象」メニューをクリックし、表示されるメニューからモニタリングする対象者を選びます。



モニタリング対象となる学習者を対象に再表示されます。

モニタリング対象者の設定で、「稼働中」あるいは「選択」を選択した場合に、モニタリング対象者となるクライアントの電源が入っていない場合は、何も表示されません。

(d) 自動巡回を行う

学習者を一定間隔で巡回し、画面を表示します。

- 1) 「巡回」メニューをクリックし、表示されるメニューから巡回の間隔をクリックします。



指定された秒間隔で順方向に学習者 PC 画面を表示します。

間隔は、1 人の学習者をモニタ(表示)する時間設定となります。

巡回中に [←] ボタンをクリックすると逆方向に巡回します。順方向に巡回するには [→] ボタンをクリックします。

巡回を終了するには、「巡回」メニューをクリックし、表示されるメニューから[停止]をクリックします。

6.5.4.4. 個別表示する

任意の学習者の画面を別のウィンドウで表示します。

- 1) モニタリングウィンドウ内で右クリックし、表示されるメニューから [個別表示] をクリックします。



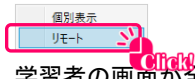
新しいウィンドウが表示され、学習者の画面が表示されます。

個別表示を終了するには、ウィンドウを閉じます。

6.5.4.5. リモート操作

学習者の個別操作が必要な場合に、リモート操作を行います。リモート操作は、モニタリング操作『6.5.4 画像受信(モニタリング)』を行ってからの操作となります。

- 1) モニタリングウィンドウ内で右クリックし、表示されるメニューから [リモート操作] をクリックします。



学習者の画面が全画面で表示されます。

- 2) 教員 PC のキーボードとマウスを利用して、学習者 PC をリモート操作します。

リモート操作開始時、学習者のキーボードとマウス、および、教員のキーボードとマウスは互いに操作可能な状態になっていません。学習者の操作を禁止させたい場合は、リモート操作ツールバーの [🔒(ロック)] ボタンをクリックします。

リモート操作を終了するには、リモート操作ツールバーの [🔴(閉じる)] ボタンをクリックします。

6.5.4.6. 個別表示/リモート操作用ツールバー

個別表示用: [XXXXXXXX] Std01 リモート操作用: [XXXXXXXX] Std01

アイコン	説明	アイコン	説明
	ツールバーの表示を ON/OFF します。		フルスクリーン表示の切り替えを行います。
	学習者側の操作をロックします。		ウィンドウを閉じます。
	Ctrl + Alt + Delete キーを送信します。		

6.5.5. 学習者 PC のモデル送出

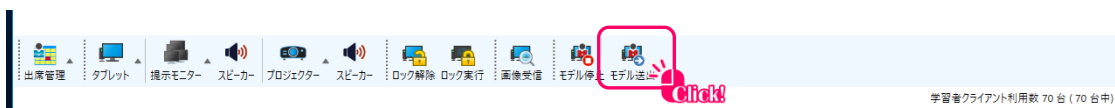
学習者の PC 画面を他の学習者に送出します。

モデル送出には、ログオンしている学習者に一斉に送出する方法と、任意の学習者に送出する方法の 2 種類があります。

6.5.5.1. 一斉送出

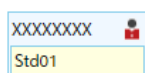
モデル学習者の PC 画面を他の学習者に送出します。

- 1) レイアウト画面上でモデルとする学習者を選択します。
教員の PC 画面をモデル送出する場合は、[教員 PC] ボタンを選択します。
- 2) [モデル送出] ボタンをクリックします。



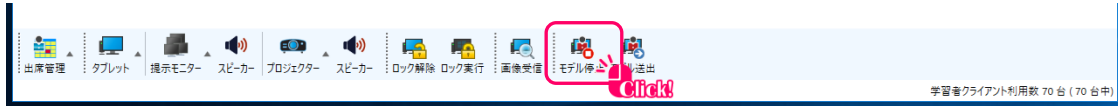
選択されたモデル PC 画面が学習者モニターに表示されます。

レイアウトには、モデル送出者の状態を表すアイコン(下図参照)が表示されます。



PC 名の横に マークが表示されます。

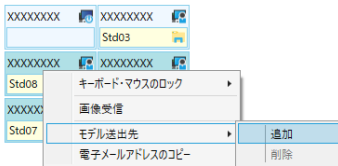
モデル送出を止めるには、[モデル停止] ボタンをクリックします。



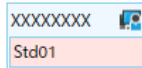
6.5.5.2. 任意の学習者へ送出

学習者の PC 画面を任意の学習者に送出します。

- 1) レイアウト画面上で任意の学習者を選択し、右クリックします。
- 2) 表示されるメニューから [モデル送出先] → [追加] をクリックします。
送出先のマーク付けを解除するには [解除] をクリックします。



選択されている学習者がモデル画面の送出先としてマーキング(下図参照)されます。



利用者の背景が変わります。

- 3) レイアウト画面上でモデルとする学習者を選択し、[モデル送出] ボタンをクリックします。
選択されたモデル学習者の画面が、マーク付けされている学習者のモニターに表示されます。

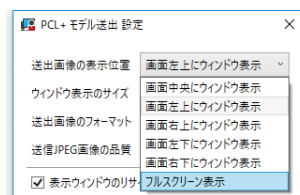
6.5.5.3. モデル送出の設定

送出画像の表示位置(フルスクリーン表示/ウィンドウ表示)や、ウィンドウ表示の詳細設定をします。

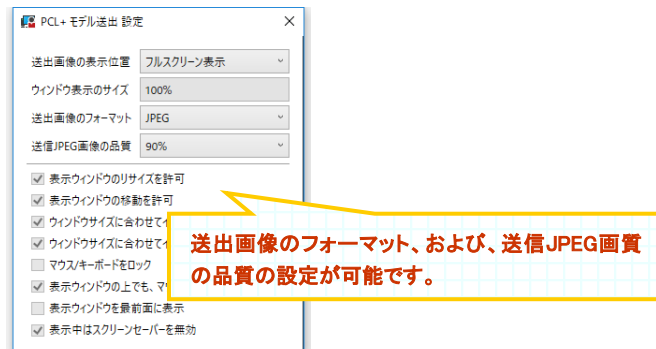
- 1) [モデル送出] ボタンを右クリックし、表示されるメニューから [モデルの設定] をクリックします。
設定画面が表示されます。

(a) フルスクリーンで表示する場合

- 1) 送出画像の表示位置メニューから「フルスクリーン」を選択します。

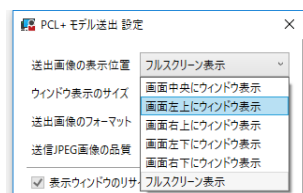


- 2) オプションを指定し、画面を閉じます。

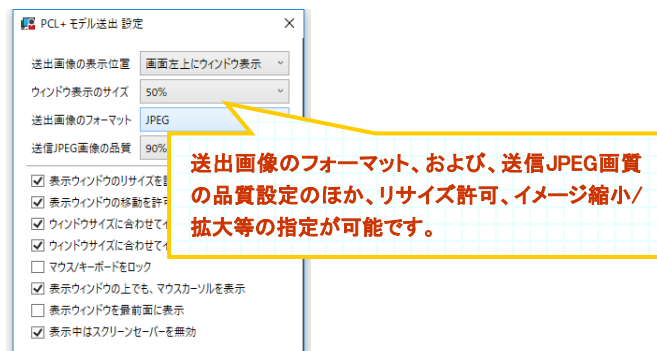


(b) ウィンドウで表示する場合

- 1) 送出画像の表示位置メニューをクリックし、表示されるメニューから目的のモードを選択します。



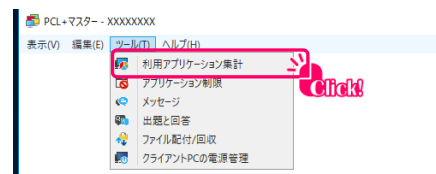
- 2) オプションを指定します。



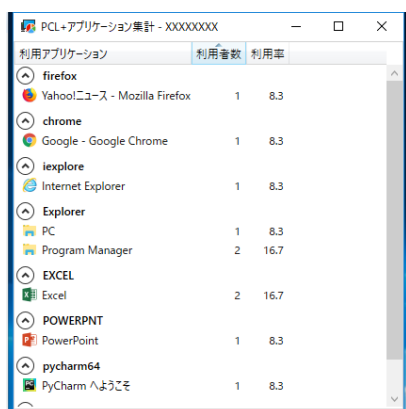
6.5.6. 利用アプリケーションの集計

利用アプリケーションの集計により、学習者の作業状況を確認します。

- 1) メニューの [ツール] から [利用アプリケーションの集計] をクリックします。



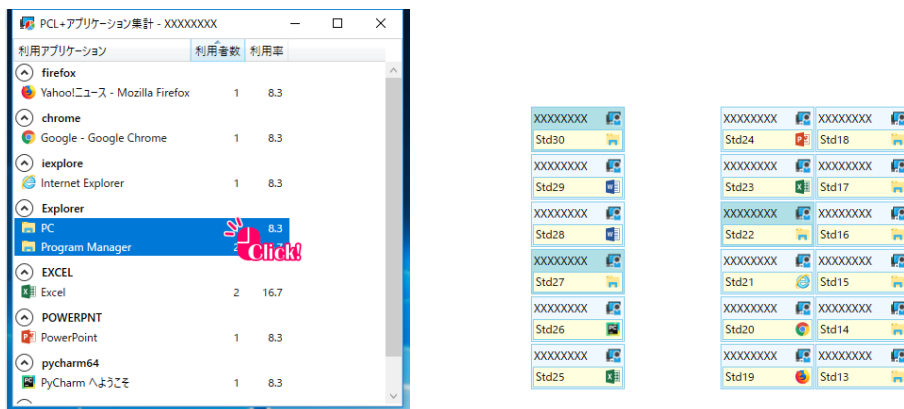
利用アプリケーションの集計ウィンドウが表示されます。



学習者が利用中のアプリケーションを集計し、一覧で表示します。

利用アプリケーションウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×(閉じる) ボタンをクリックします。

6.5.6.1. アプリケーション利用者の選択



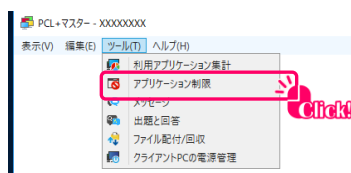
アプリケーション名を選択すると、レイアウトウィンドウで利用者が選択されます。

6.5.7. アプリケーション制限

学習者 PC のアプリケーションの利用を制限します。

※ PCL+アプリケーションの終了時、および、アプリケーション制限ウィンドウ を閉じたときに、この制限は解除されます。

- 1) メニューの [ツール] から [アプリケーション制限] をクリックします。



アプリケーション制限ウィンドウが表示されます。



アプリケーションの制限 ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×(閉じる) ボタンをクリックします。

6.5.7.1. 利用制限の設定について

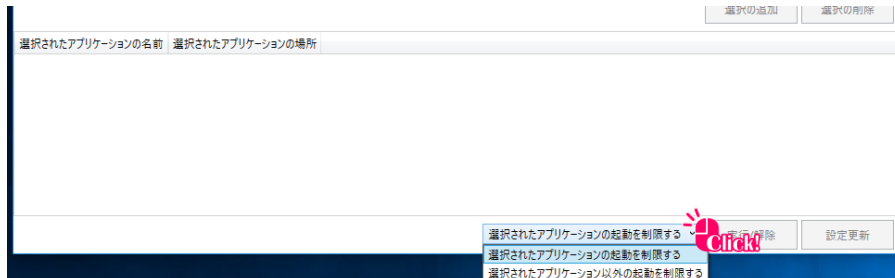
利用の制限を実施中に制限の設定を更新した場合は、[設定更新]ボタンをクリックすることにより反映されます。

6.5.7.2. アプリケーションの利用を制限する

(a) 制限の設定

アプリケーションの制限には、選択されたアプリケーションの起動を制限する方法と、選択されたアプリケーション以外の起動を制限する方法の2種類があります。

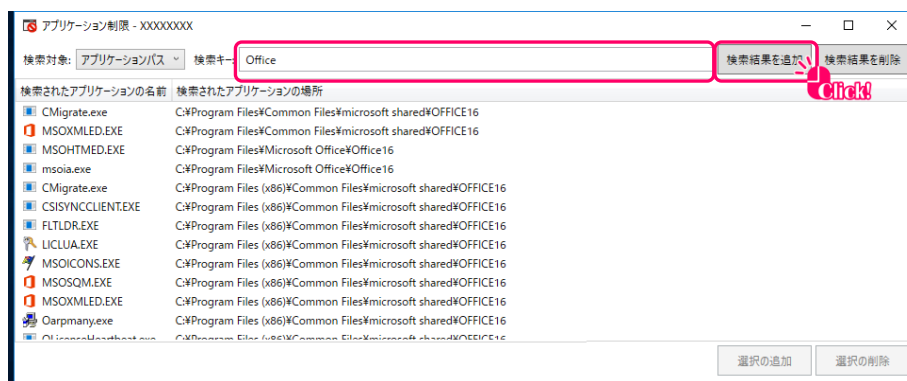
制限の設定リストをクリックし、表示されるメニューから目的のメニューをクリックします。



(b) 検索を利用する

- 1) 検索キー欄にキーワードを入力し、[検索結果の追加] ボタンをクリックします。

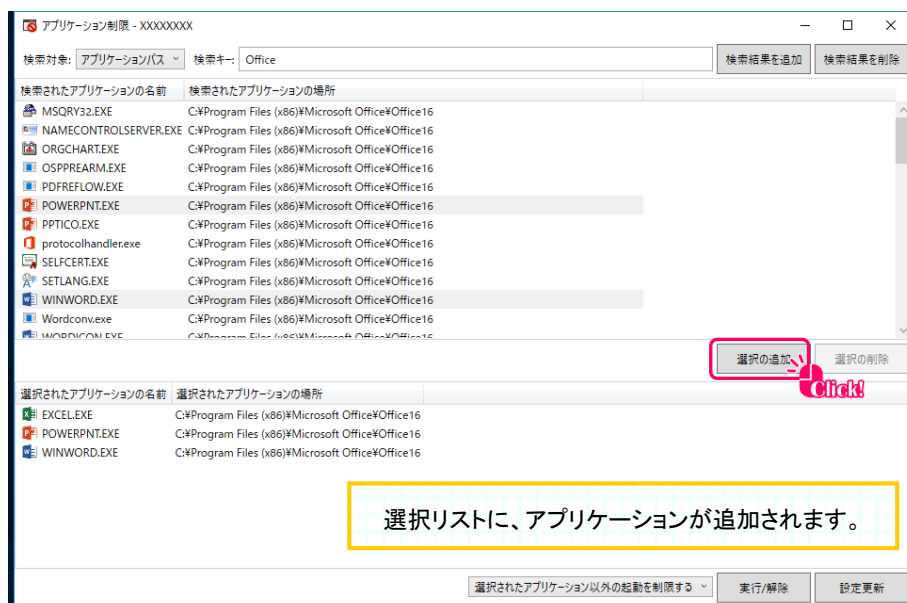
入力した検索キーワードに該当したアプリケーションがリストに表示されます。



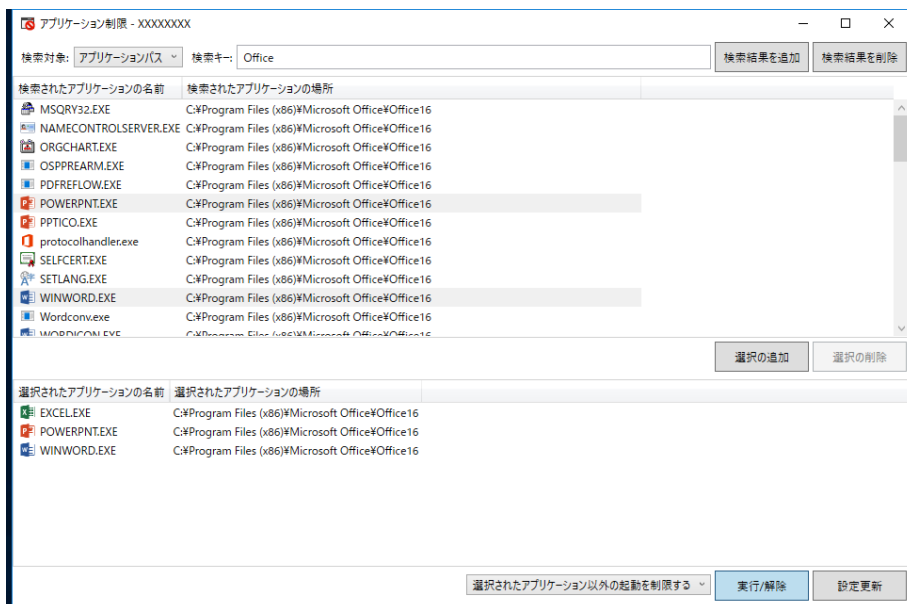
検索キーワードに該当したアプリケーションを一覧から削除する場合は、[検索結果を削除]ボタンをクリックします。

リストを右クリックすると、右図のメニューが表示され、削除を行うことができます。

- 2) リストからアプリケーションを選択し、[選択の追加] をクリックします。



3) [実行/解除]ボタンをクリックします。



学習者 PC のアプリケーションの利用を一時的に制限します。

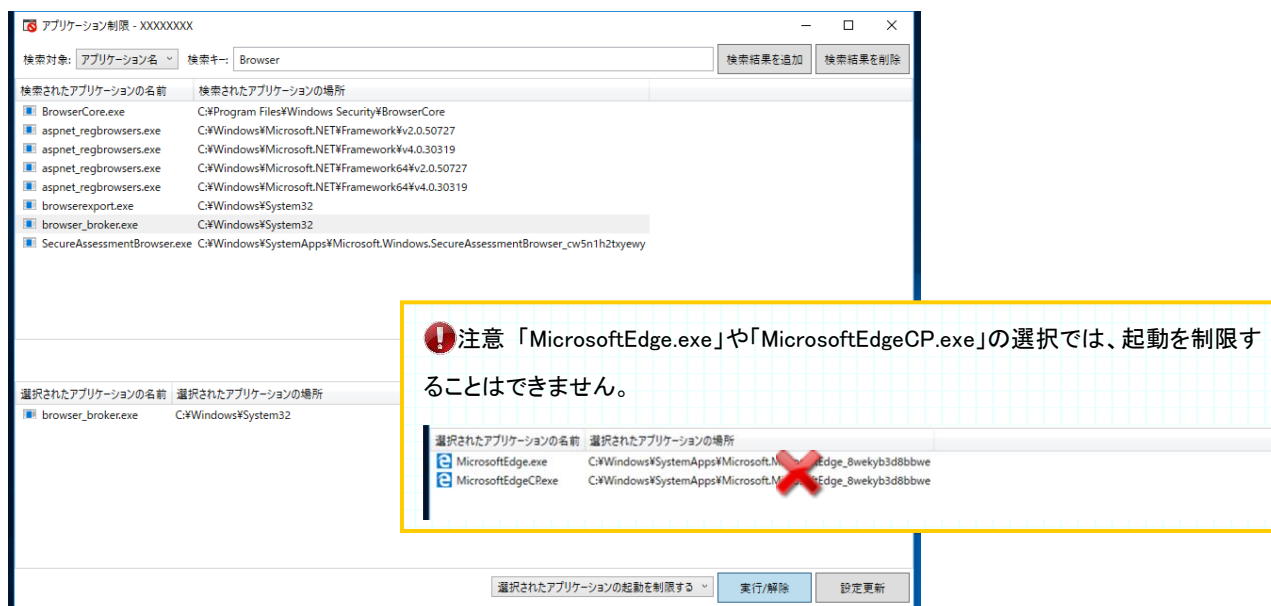
アプリケーションの制限を解除するには、もう一度 [実行/解除] ボタンをクリックします。

(c) アプリケーション制限について

一部のアプリケーションでは、異なる名称のアプリケーションを選択することで制限が有効になるものや、いくつかのアプリケーションを選択する必要がある場合があります。特異な例を以下に挙げます。

(d) Microsoft Edge の起動を制限するには

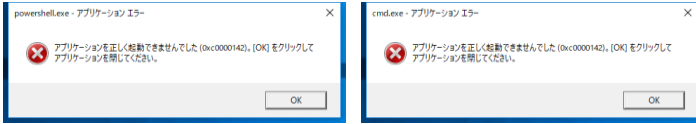
「browser_broker.exe」を選択します。



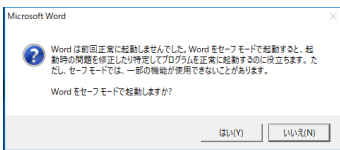
(e) 制限時や制限解除後にアプリケーションを起動した際にメッセージが表示される場合があります。

教員が学習者 PC のアプリケーションの利用制限を実施している場合に、利用を許可されていないアプリケーションを起動すると、起動されるアプリケーションによってメッセージが表示される場合があります。

メッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認し、適切なボタンをクリックしてメッセージを閉じます。

(a) PowerShell/コマンドプロンプト**(b) Microsoft Office シリーズ**

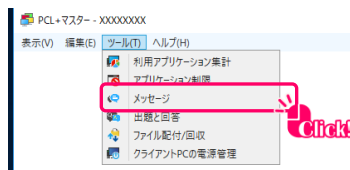
バージョンによって、次のメッセージが表示されます。

**6.5.8. メッセージ**

学習者と教員の間でテキストベースのメッセージを送受信します。

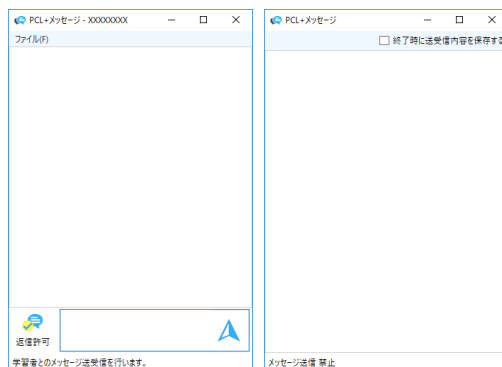
メッセージの送受信は、教員からのメッセージ送信とともに、学習者に送信を許可してメッセージの受信を行います。

- 1) メニューの ツール から [メッセージ] をクリックします。



メッセージの送受信ウィンドウが表示されます。

ログオンしている学習者側にもメッセージの送受信ウィンドウが表示されます。



左側：教員用、右側：学習者用

学習者用メッセージの送受信ウィンドウは、学習者の操作では閉じることができないようになっています。

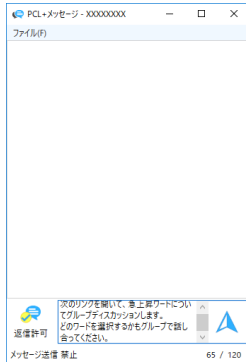
メッセージを終了するには、教員がメッセージの送受信ウィンドウの右上にある閉じるボタンをクリックします。

学習者用メッセージの送受信ウィンドウも閉じられます。

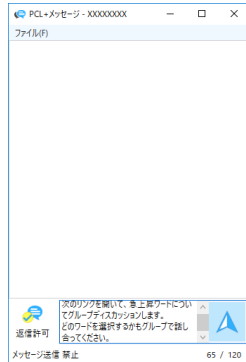
6.5.8.1. メッセージを送信する

- 1) メッセージ入力ボックスにメッセージを入力し、[送信] ボタンをクリックします。

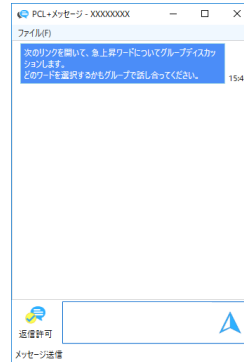
ウィンドウの右下には、送信可能な文字数と入力文字数が表示されます。送信可能な文字数を超過している場合は、メッセージを送信することができません。



入力

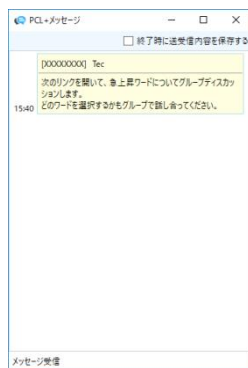


送信



送信履歴

学習者用メッセージの送受信ウィンドウにメッセージが表示されます。

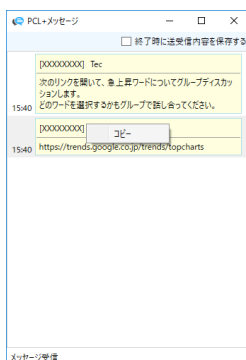


強制送信オプション

[Ctrl キー]を押しながら「送信」ボタンをクリックします。
送信可能な文字数を超過してメッセージを送信します。

6.5.8.2. メッセージをクリップボードにコピーする

- 1) メッセージを右クリックし、表示されるメニューから [コピー] をクリックします。

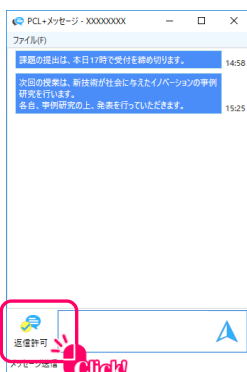


選択されたメッセージがクリップボードにコピーされます。

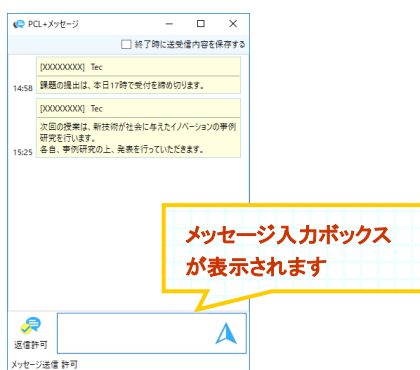
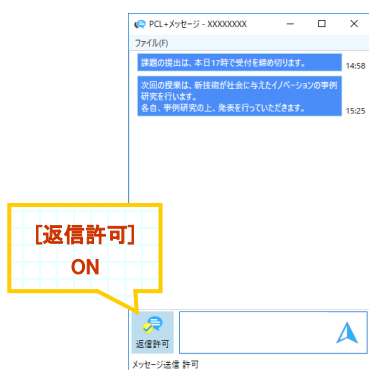
6.5.8.3. 学習者の返信を許可してメッセージを受信する

学習者からのメッセージ送信には、教員の許可が必要です。

- 1) [返信許可] ボタンをクリックします。

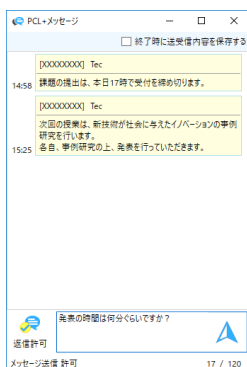


返信許可ボタンが ON になり、学習者用メッセージの送受信ウィンドウにて、メッセージの送信が可能になります。
許可を取り消すには、もう一度 [返信許可] ボタンをクリックし、OFF にします。

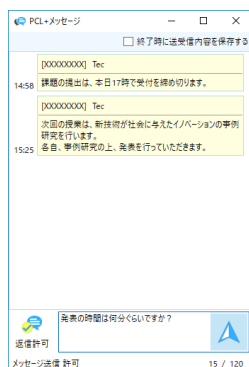


左側: 教員用、右側: 学習者用

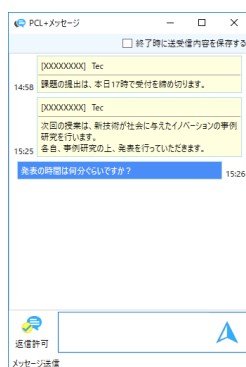
2) 学習者用メッセージの送受信ウィンドウでメッセージを入力し、[送信] ボタンをクリックします。



入力

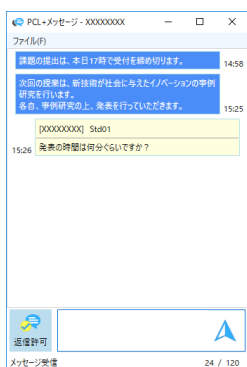


送信



送信履歴

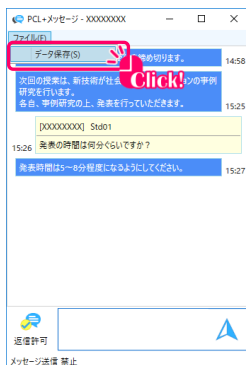
教員用メッセージの送受信ウィンドウにメッセージが表示されます。



6.5.8.4. メッセージの送受信履歴の保存

[教員]

[ファイル] – [データ保存] メニューをクリックすることで、送受信内容を CSV ファイルとして保存することができます。



[メッセージのデータ保存] ダイアログが表示されますので、保存先、保存形式を選択して保存します。

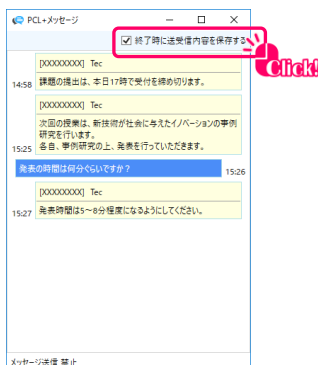
送受信履歴が CSV 形式で保存されます。

既定では、マイドキュメントフォルダーが開かれます。

[ファイル名] ボックスには、保存日時がファイル名としてあらかじめ入力されています。

[学習者]

「 終了時に送受信内容を保存する」にチェックを入れておくことで、メッセージの送受信の終了時に送受信内容を CSV ファイルとして保存することができます。



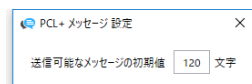
保存先はデスクトップとなり、保存ファイル名は "Message_" 文字列の後に保存日時を加えた形式となります。

6.5.8.5. メッセージの設定

送信メッセージの文字数を設定します。

- 1) メニューの ツール から [メッセージ] を右クリックし、表示されるメニューから [メッセージの設定] をクリックします。

設定画面が表示されます。



- 2) 送信可能なメッセージの文字数を指定し、画面を閉じます。

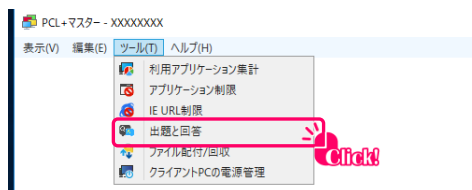
設定された値は、次にメッセージ ウィンドウ を起動したときに反映されます。

大きな値を指定した場合、正しく送信できない場合があります。

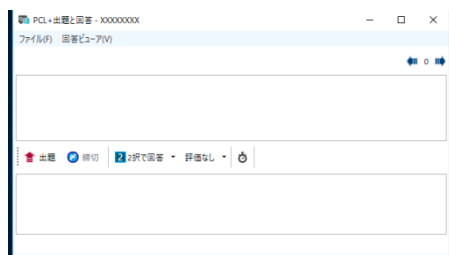
6.5.9. 出題と回答

教員側より設問を出題し、設問に対する学習者の回答(選択内容、回答時間)を集計、一覧表示し、学習者の理解度を把握します。

- 1) メニューの ツール から [出題と回答] をクリックします。



出題と回答ウィンドウが表示されます。



設問を出題すると学習者側に「出題と回答ウィンドウ」が表示され、教員から指示があることを通知します。

学習者用の「出題と回答ウィンドウ」は、学習者の操作では閉じることができないようになっています。

出題と回答 を終了するには、教員が出題と回答ウィンドウの右上にある 閉じる ボタンをクリックします。

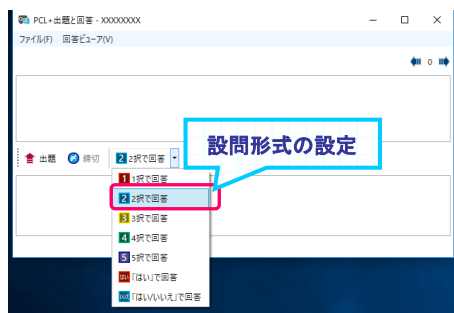
学習者用 出題と回答 ウィンドウも閉じられます。

6.5.9.1. 設問の出題設定と回答

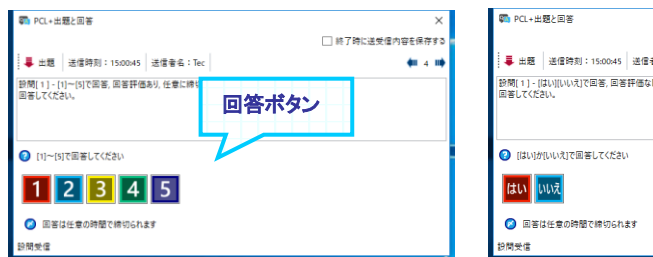
- 1) 【教員操作】設問の内容に応じ、設問形式、評価、回答制限時間の設定を行います。

(a) 設問形式の設定

設問形式ボタンをクリックし、表示されるメニューから設問の形式を設定します。



設問を出題した時の「学習者用-出題と回答ウィンドウ」



設問形式に合った回答ボタンが表示されます。

(b) 評価の設定

評価なしボタンをクリックし、表示されるメニューから評価なし・評価あり・評価あり(開示なし)の何れかを選択します。

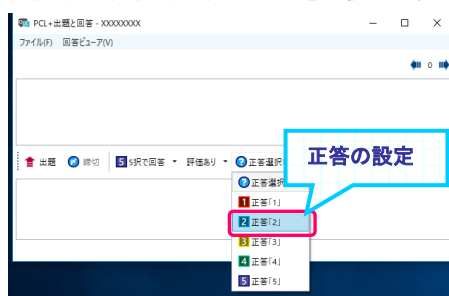


”評価なし”で回答を締切した時の「学習者用-出題と回答ウィンドウ」



(c) 正答の設定 [評価あり・評価あり(開示なし)を設定した場合のみ]

評価あり・評価あり(開示なし)を選択した場合は、未選択ボタンをクリックし、表示されるメニューから正答を選択します。




”評価あり”で回答を締切した時の「学習者用-出題と回答ウィンドウ」



正答と評価を開示します。

”評価あり(開示なし)” で回答を締切した場合は、”評価なし”と同じになります。

(d) 回答制限時間の設定

 をクリックし、回答制限時間を入力します。(最大 999 秒まで指定可能)



”回答制限時間”が設定された時の「学習者用-出題と回答ウィンドウ」



設問の出題時に回答制限時間が表示され、設定された時間で回答が締め切られます。

(e) 設問詳細の入力

必要に応じて、設問の詳細内容や説明を入力します。(任意操作)



入力した内容が学習者側に表示されます。(未入力の場合は「回答してください」と表示されます)



6.5.9.2. 設問の出題と回答の流れ

1) 【教員操作】設問を出題します。

[出題] ボタンをクリックし、設問を送信します。



「学習者用-出題と回答ウィンドウ」に設問が表示されます。

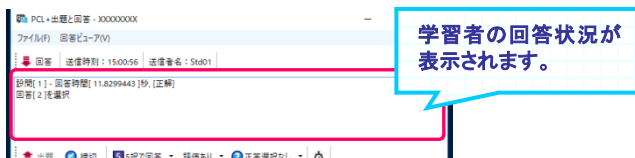


- 2) 【学習者操作】正答と思われる”回答ボタン”をクリックします。



回答が教員に送信されます。

学習者から回答が行われると、「教員用-出題と回答ウィンドウ」に学習者の回答状況が表示されます。



- 3) 【教員操作】[締切] ボタンをクリックし、締め切りを行います。

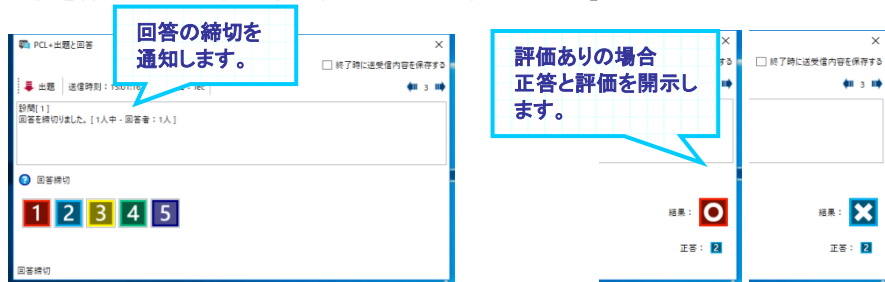
回答制限時間を設定していない場合は、任意の時間で締め切りを行ってください。



回答制限を設定している場合は、設定時間になると自動で締め切りとなります。(設定時間より前に任意に締め切ることもできます)

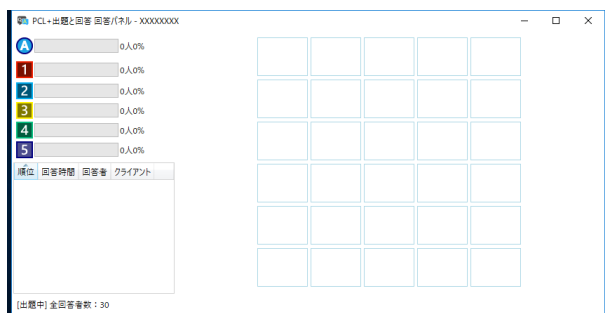
評価ありの場合、設問の締め切り時に正答と評価を開示します。

回答を締め切りした時の「学習者用-出題と回答ウィンドウ」



6.5.9.3. 回答ビューアの利用

設問に対する学習者の回答(選択内容、回答時間)を集計、一覧表示し、学習者の理解度を把握します。



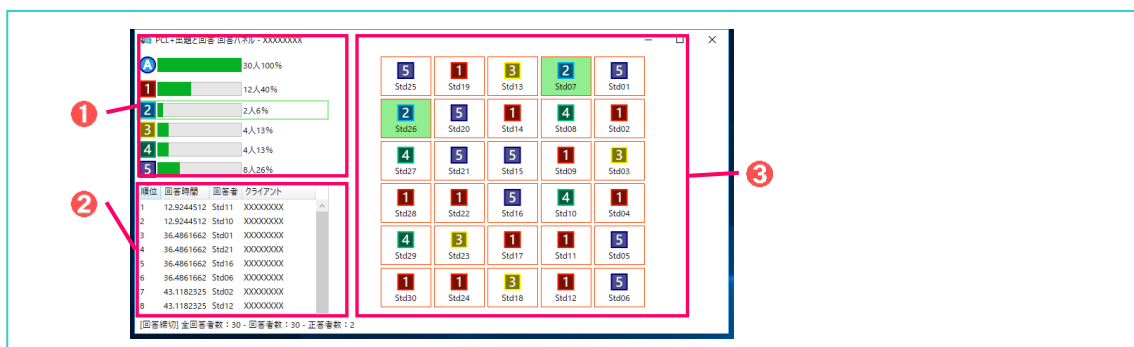
回答ビューアを表示するには、メニューの [回答ビューア] をクリックし、「表示」をクリックします。



回答ビューア ウィンドウが表示されます。

回答ビューア ウィンドウを非表示にするには、出題と回答ウィンドウにてメニューの [回答ビューア] をクリックし、[非表示] をクリックします。(閉じるボタンは無効になっています)

回答ビューアの構成



①回答者数

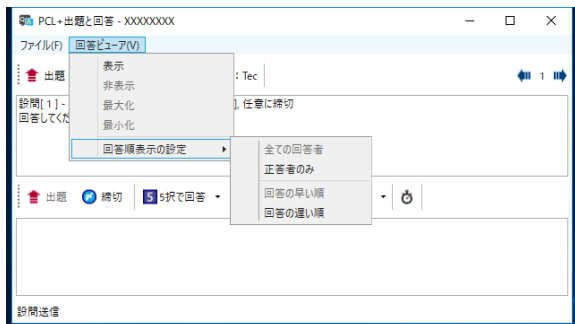
回答毎の回答者数を表示します。

設問が評価ありの場合は、設問を締め切り時に答えの番号が緑枠線で協調表示されます。

②回答順

回答時間の順に回答者を表示します。

全ての回答者、正答者のみ、回答時間の早い順、遅い順で並び替えることもできます。

**③回答パネル**

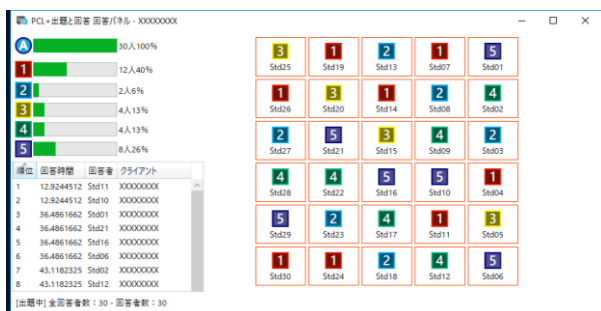
学習者の回答があると、パネルに回答者名と回答が表示されます。パネルは学習者から見た並びでレイアウト表示されます。評価の設定により、パネルの表示が変わります。

6.5.9.4. 回答パネルの表示例**(a) 回答を評価しない場合**

評価の設定メニューから「評価なし」を選択して、出題を実施します。



学習者の回答があると、パネルに回答者名と回答が表示されます。

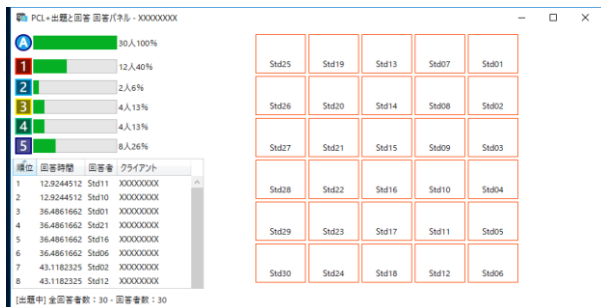
**(b) 回答を評価する場合**

評価の設定メニューから「評価あり」を選択した後、正答を設定して、出題を実施します。

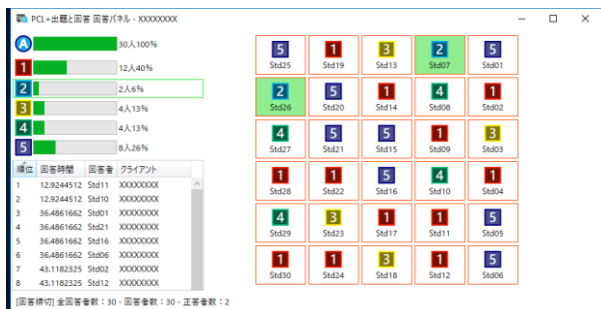




学習者の回答があると、回答者名のみが表示されます。



締め切り時、各学習者の回答とともに、正答者をハイライト表示します。

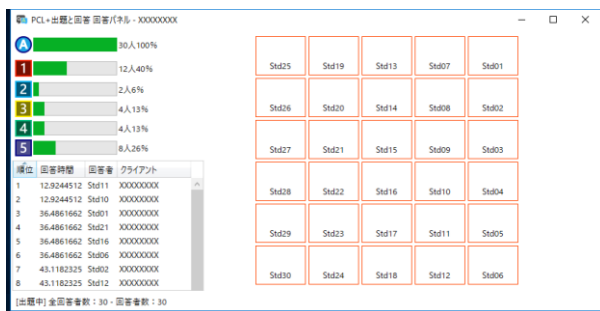


(c) 回答を評価するが学習者には開示しない場合

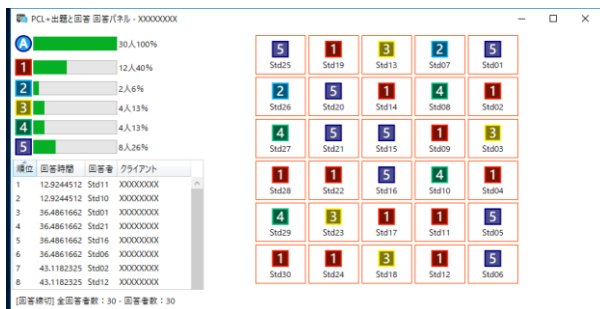
評価の設定メニューから「評価あり(開示なし)」を選択した後、正答を設定して、出題を実施します。



学習者の回答があると、回答者名のみが表示されます。



締め切り時、各学習者の回答を表示します。



6.5.9.5. 送受信履歴の保存

[教員]

[ファイル] - [データ保存] メニューをクリックすることで、送受信内容を CSV ファイルとして保存することができます。



[出題と回答のデータ保存] ダイアログが表示されますので、保存先、保存形式を選択して保存します。

送受信履歴が CSV 形式で保存されます。

既定では、マイドキュメントフォルダーが開かれます。

[ファイル名] ボックスには、保存日時がファイル名としてあらかじめ入力されています。

[学習者]

「 終了時に送受信内容を保存する」にチェックを入れておくことで、出題と回答の終了時に送受信内容を CSV ファイルとして保存することができます。



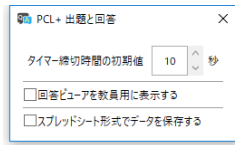
保存先はデスクトップとなり、保存ファイル名は "Question_" 文字列の後に保存日時を加えた形式となります。

6.5.9.6. 出題と回答の設定

回答締め切り時間の初期値や、回答ビューアの表示設定、データ保存形式を設定します。

- 1) メニューの ツール から [出題と回答] を右クリックし、表示されるメニューから [出題と回答の設定] をクリックします。

設定画面が表示されます。



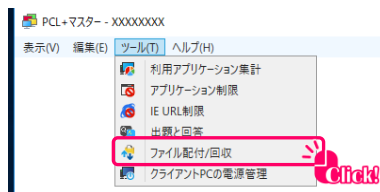
- 2) 設定を行い、画面を閉じます。

設定された内容は、次に 出題と回答 ウィンドウ を起動したときに反映されます。

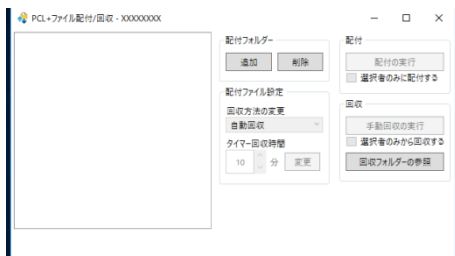
6.5.10. ファイルの配付/回収

学習者へファイルの配付/回収を行います。

- 1) メニューの [ツール] から [ファイル 配付/回収] をクリックします。



ファイル配付/回収ウィンドウ が表示されます。



ファイル配付/回収ウィンドウ を閉じるには、ウィンドウの右上にある 閉じる ボタンをクリックします。

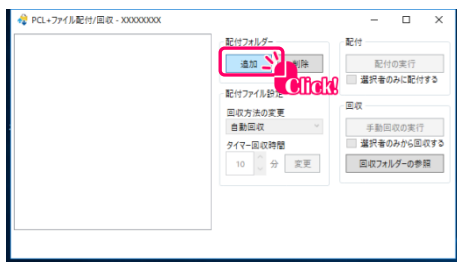
6.5.10.1. ファイルの配付

Word や Excel などで作成した教材(事前に準備したもの)を学習者 PC のデスクトップに配付します。

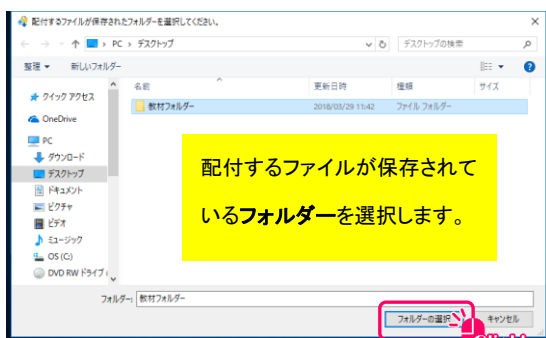
準備した教材を配付するためには、配付したいファイルを、あらかじめひとつのフォルダーに保存しておきます。

- 1) 配付の準備

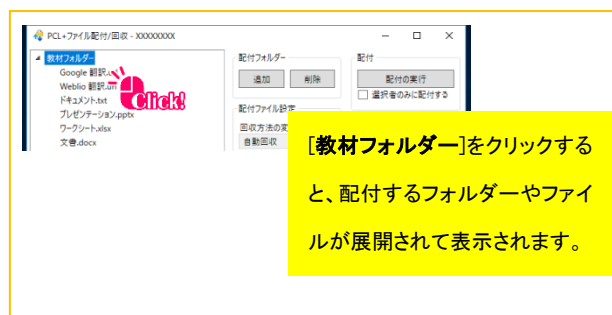
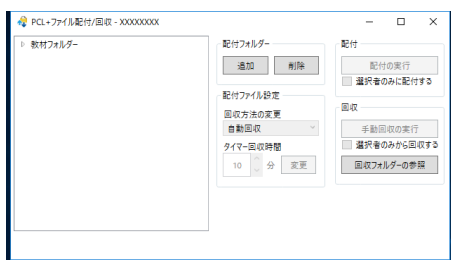
[追加] ボタンをクリックします。



- 2) フォルダの参照ダイアログボックスが表示されます。学習者に配付するフォルダを選び、[フォルダの選択]ボタンをクリックします。

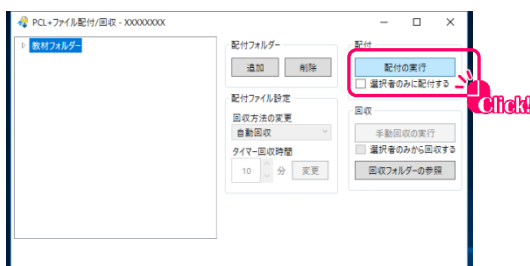


- 3) リストに配付する教材フォルダが登録されます。
フォルダを展開し、必要に応じて回収方法の変更を行います。



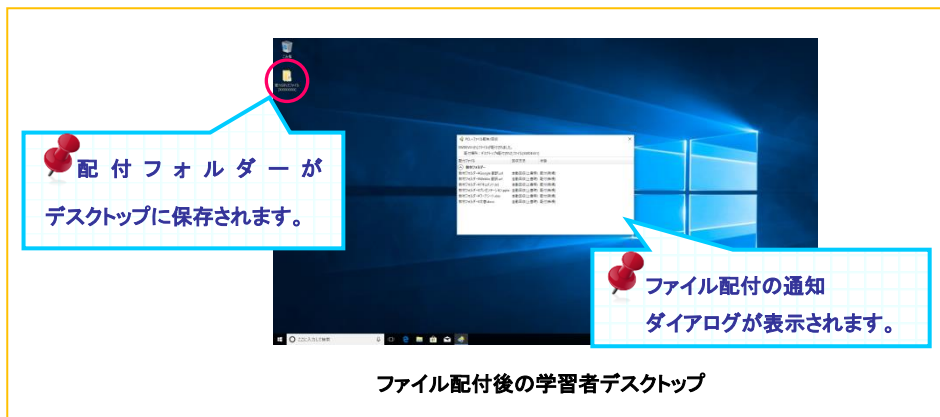
配付するファイルが間違えて登録してしまった場合には、教材フォルダを選択し「削除」ボタンをクリックします。

- 4) 配付の実行
教材フォルダを選択して、[配付の実行] ボタンをクリックします。



学習者にファイルが配付されます。

学習者のデスクトップにファイルが配付され、メッセージが表示されます。



一部の学習者にファイルを配信する場合は、レイアウト画面で学習者を選択後、[選択者のみに配信する]をチェックし、[配信の実行] ボタンをクリックします。

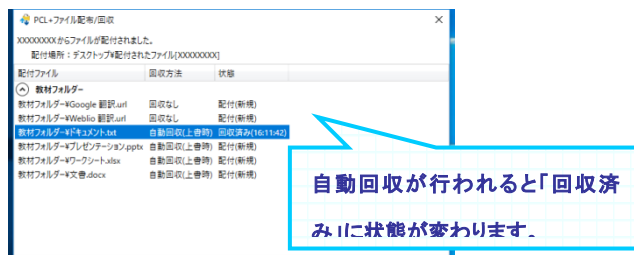
※ [配信の実行]ボタンをクリックできない状態になっている場合は、[教材フォルダー]が選択されていることを確認します。

ファイルの配信完了後、配信数クライアントの数が更新されます。

6.5.10.2. ファイルの回収

『ファイルの配信』操作で配信したファイルを回収します。

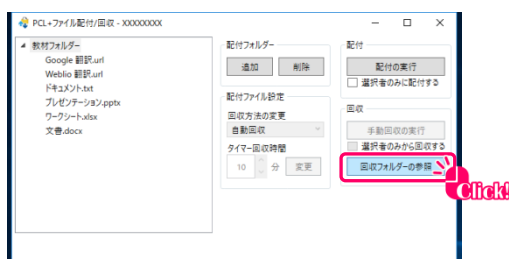
既定では、学習者が配信されたファイルを上書き保存した際に、自動回収が行われます。



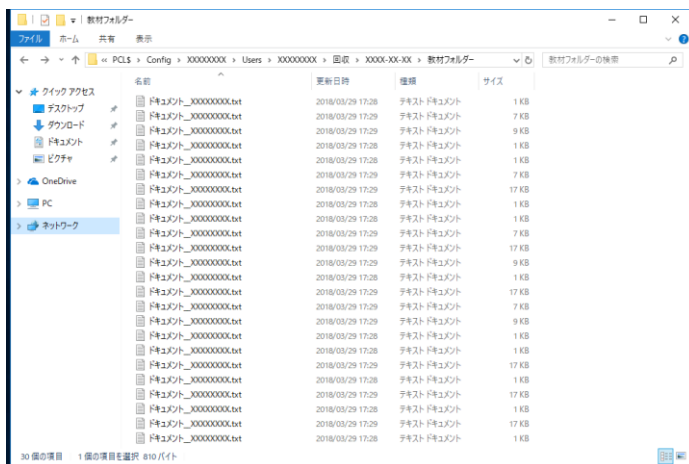
配信されたファイルを上書きすると、回収済みが通知されます。

6.5.10.3. 回収したファイルを確認するには

回収したファイルを確認します。



回収フォルダーが開きます。

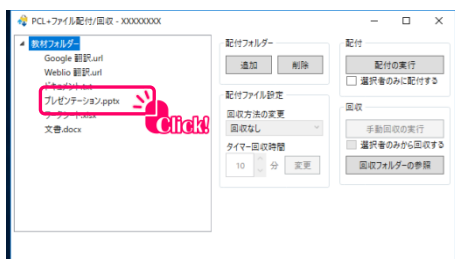


開かれたフォルダー内に、回収されたファイルが保存されています。

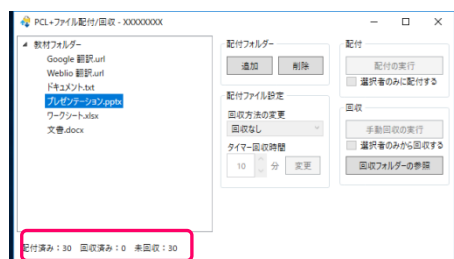
6.5.10.4. 未回収の学習者を確認するには

未回収の学習者を確認します。

- 1) 教材をクリックします。



ステータスバーに 回収状況 が表示されます。



未回収 をクリックすると、レイアウトウィンドウで未回収の学習者が選択されます。未回収の学習者を選択し手動回収を実行することが可能です。



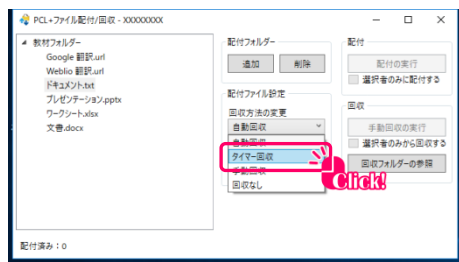
6.5.10.5. 回収方法を指定してファイルの配信と回収を行う

「1) 配信の準備」で、回収方法の設定をすることにより、タイマーによる回収や、任意のタイミングでの手動回収が行えます。

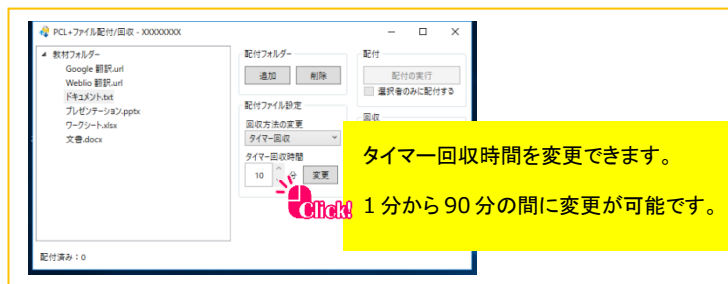
6.5.10.6. タイマー回収による配信と回収

指定時間後に配信ファイルを自動回収します。

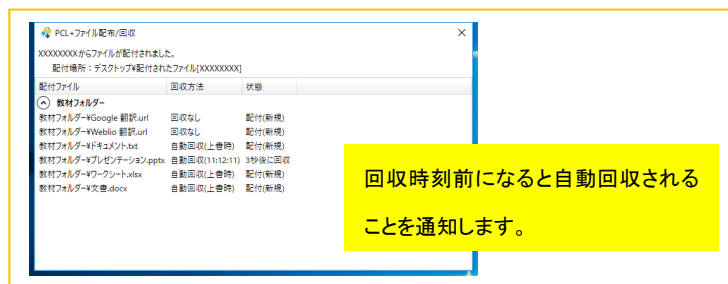
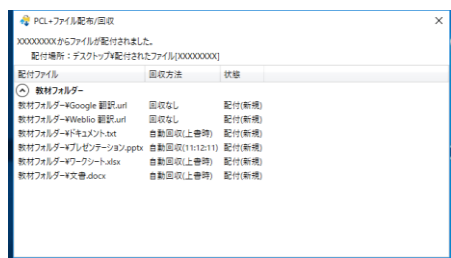
- 1) 回収方法を変更するファイルを選択します。
- 2) [回収方法の変更]メニューをクリックし、表示されるメニューから[タイマー回収]を選択します。
必要に応じて、回収時間を設定します。既定値は 10 分です。



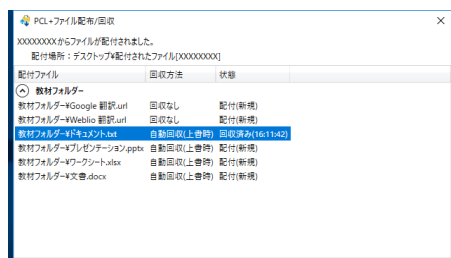
回収方法の設定が変更されます。



- 1) [配付の実行] ボタンをクリックし、学習者にファイルを配付します。
ファイル配付時、指定時間経過後に自動回収されること通知します。



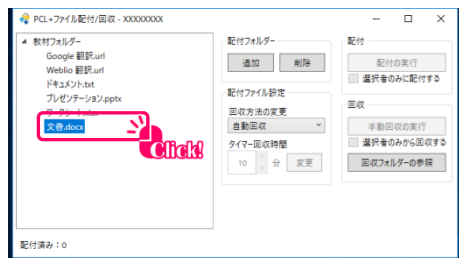
指定時間経過後にファイルが回収されます。



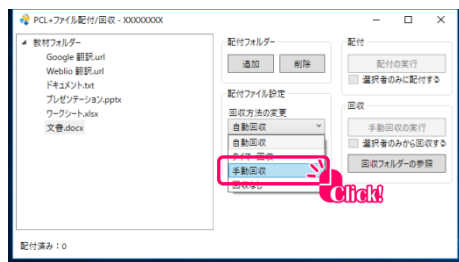
6.5.10.7. 手動回収による配付と回収

任意に配付ファイルを回収します。

- 1) 回収方法を変更するファイルを選択します。

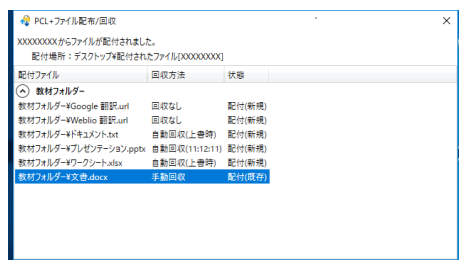


- 2) [回収方法の変更] をクリックし、表示されるメニューから [手動回収] を選択します。



回収方法の設定が変更されます。

- 3) [配付の実行] ボタンをクリックし、学習者にファイルを配付します。
ファイル配付時、任意にファイルが回収されることを通知します。



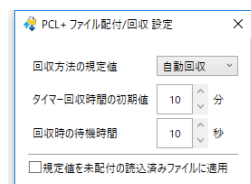
- 4) 手動で回収を行うファイルを選択後、[回収の実行] ボタンをクリックし、ファイルを回収します。
学習者に回収のメッセージが表示され、設定された待機時間(既定では 10 秒)経過後にファイルが回収されます。
設定時間内に上書き保存を行うように、学習者に指示してください。

6.5.10.8. ファイルの配付/回収の設定

回収方法、回収時間、回収時の待機時間などの初期値を設定します。

- 1) メニューの ツール から [ファイル 配付/回収] を右クリックし、表示されるメニューから [ファイル 配付/回収の設定] をクリックします。

設定画面が表示されます。



- 2) 設定を行い、画面を閉じます。
設定された内容は、次に ファイル配付/回収ウィンドウ を起動したときに反映されます。

6.5.11. クライアント PC の管理

学習者 PC の終了や起動を行います。

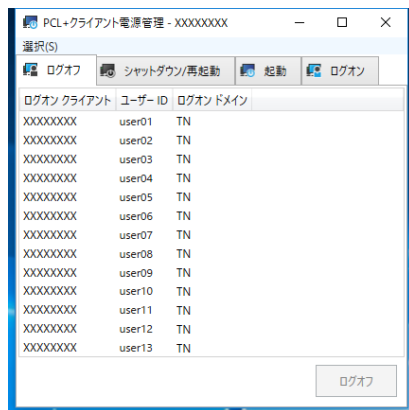
[クライアント PC の管理]機能で利用する各機能は、シャットダウン直後の起動命令や起動直後のログオン命令など、学習者 PC 状態により実行できない場合があります。実行できなかった場合には再度操作を実行してください。

6.5.11.1. クライアント PC の終了(ログオフ/シャットダウン/再起動)

- 1) メニューの [ツール] から [クライアント PC の管理] をクリックします。



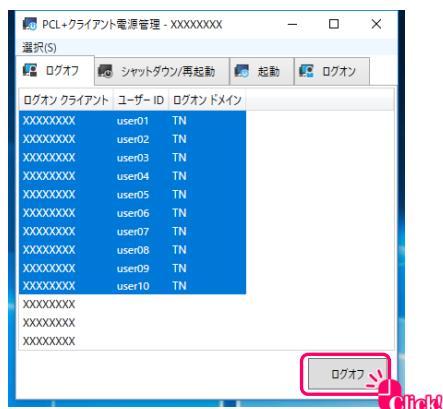
クライアント電源管理 ウィンドウが表示されます。



クライアント電源管理 ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×(閉じる) ボタンをクリックします。

利用 PC のログオフ

- 1) 「ログオフ」タブを開き、リストからログオフを実行するクライアント PC を選択します。
- 2) 「ログオフ」ボタンをクリックします。



強制終了オプション

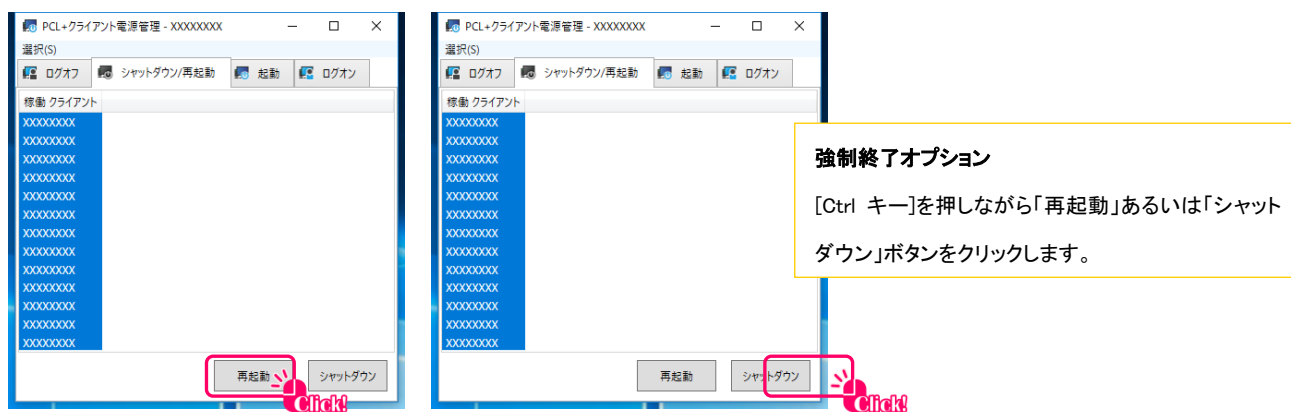
[Ctrl キー]を押しながら「ログオフ」ボタンをクリックします。

選択された PC でログオフ処理が実行されます。

編集中のファイルなどがある場合やコンピューターのロック中は、ファイル保護のため、正常に終了ができません。

PC の再起動/シャットダウン

- 1) 「再起動/シャットダウン」タブを開き、リストから再起動、あるいはシャットダウンを実行するクライアント PC を選択します。
- 2) 「再起動」あるいは「シャットダウン」ボタンをクリックします。



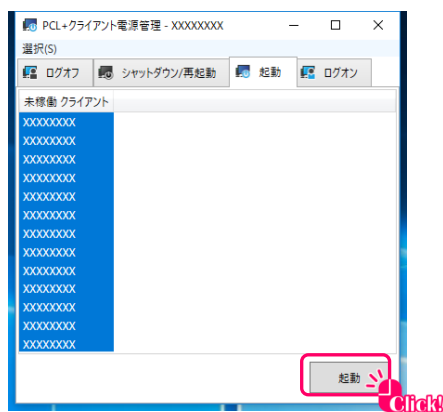
選択された PC で再起動、あるいはシャットダウン処理が実行されます。

編集中のファイルなどがある場合やコンピューターのロック中は、ファイル保護のため、正常に終了できません。

6.5.11.2. クライアント PC の起動(電源投入/ログオン)

クライアント PC の起動

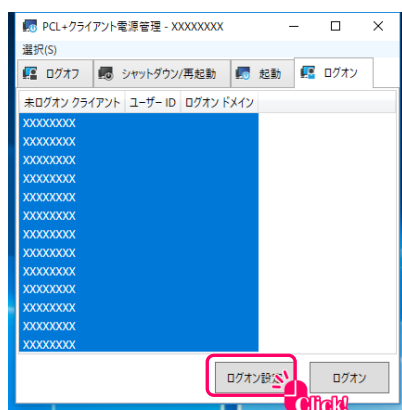
- 1) リストからクライアント PC を選択し、「起動」ボタンをクリックします。



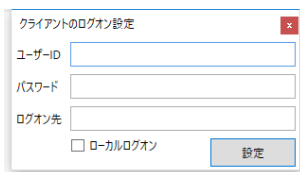
選択された PC の電源が投入されます。

クライアント PC のリモートログオン

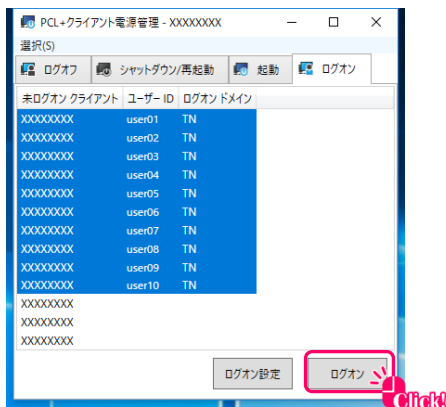
- 1) リストからクライアント PC を選択し、「ログオン設定」ボタンをクリックします。



- 2) クライアントのログオン設定ウィンドウが表示されます。アカウント情報を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



- 3) 「ログオン実行」ボタンをクリックします。



リモートログオンが実行されます。

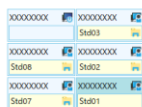
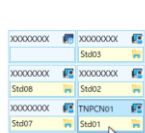
6.5.12. 学習者の選択と解除

状況に応じて学習者を選択したり、選択を解除したりします。操作は、レイアウトウィンドウを操作する方法とメニューから操作する方法の2種類があります。

6.5.12.1. レイアウトウィンドウ操作

(a) 任意の学習者を指定して選択する

- 1) レイアウトウィンドウ内の任意の学習者をクリックします。



学習者が選択されます。

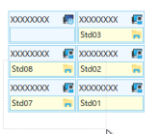
複数の学習者を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします。

選択状態にある学習者をクリックした場合は、選択が解除されます。

選択範囲から1つ以上の項目を除外する場合は、Ctrl キーを押しながら対象の学習者をクリックします。

(b) 範囲指定した学習者を選択する

- 1) レイアウトウィンドウ内の学習者を、マウスでドラッグして範囲指定します。



マウス ポインターを選択対象の項目の外側を囲むようにドラッグして、選択範囲を指定します。

XXXXXXXX	XXXXXXXX	☑
Std03		
XXXXXXXX	XXXXXXXX	☑
Std08	Std02	
XXXXXXXX	XXXXXXXX	☑
Std07	Std01	

矩形に含まれた学習者が選択されます。

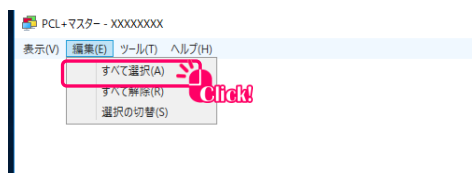
(c) すべて解除する

- レイアウトウィンドウ内の 背景 をクリックします。
選択が解除されます。

6.5.12.2. メニュー操作

(a) すべて選択する

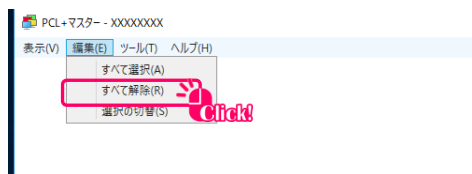
- [選択]メニューをクリックし、[すべて選択] をクリックします。



すべての学習者を選択状態にします。

(b) すべて解除する

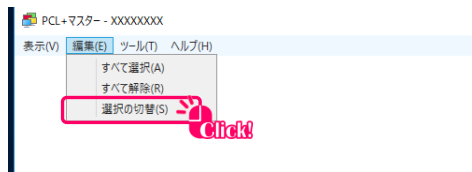
- [選択]メニューをクリックし、[すべて解除] をクリックします。



すべての学習者の選択を解除します。

(c) 選択を切り替える

- [選択]メニューをクリックし、[選択の切替] をクリックします。



学習者の選択を切り替えます。